

報告・協議 1

令和 7 年度広島県公立高等学校入学者選抜一般学力検査
の結果について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和 7 年 6 月 13 日

広島県教育委員会教育長 篠 田 智 志

令和7年度広島県公立高等学校入学者選抜

一般学力検査の結果

広島県教育委員会

目 次

I	一般学力検査結果の概要	1
1	出題について	1
2	検査結果の概要について	1
II	各教科の出題のねらい及び正答率と指導のポイント	5
	国 語	5
	社 会	9
	数 学	14
	理 科	19
	英 語	23
III	令和7年度学力検査問題、採点基準	27

○ 検査問題には、著作権等に関わる内容が含まれているので、校内の研修に用いるなど、本冊子の趣旨の範囲内で使用すること。

○ 著作権等に係る出典名等は次のとおり。

- 国 一 村上雅郁 きみの話を聞かせてくれよ (株式会社フレーベル館)
二 原研哉 低空飛行ーこの国のかたちへ (株式会社岩波書店)
二 田崎智宏 「制度化」で将来の人々を守る (国立研究開発法人 国立環境研究所 社会システム領域)
三 清水浜臣(校注者 多治比郁夫・中野三敏) 泊泊筆話 (株式会社岩波書店)

社 ① (写真Ⅰ) ロシアヤクーツク高床のアパート (株式会社アフロ)

I 一般学力検査結果の概要

令和7年2月26日（水）に実施した広島県公立高等学校入学者選抜における一般学力検査について、その概要を取りまとめたので、今後の学習指導の参考としてください。

1 出題について

一般学力検査問題の出題に当たっては、中学校学習指導要領に示された各教科の目標に基づき、分野・領域のバランスに留意するとともに、基礎的・基本的な内容を中心に出题した。また、総合問題や記述問題などを取り入れることによって、思考力、判断力、及び表現力等をみるよう配慮した。

出題の大問数等については、次のとおりである。なお、英語においては、例年どおり実音聴取による問題を出題した。

各教科における設問数

内容	国語	社会	数学	理科	英語
大問数	3	4	6	5	4
設問数	23	23	20	25	22
選択問題	3	13	1	14	13
記述問題等	20	10	19	11	9

* 記述問題等には、漢字の書き取りや選択した理由を併せて記述する設問を含めている。

2 検査結果の概要について

各教科の平均点、標準偏差及び得点分布については、次のとおりであった。

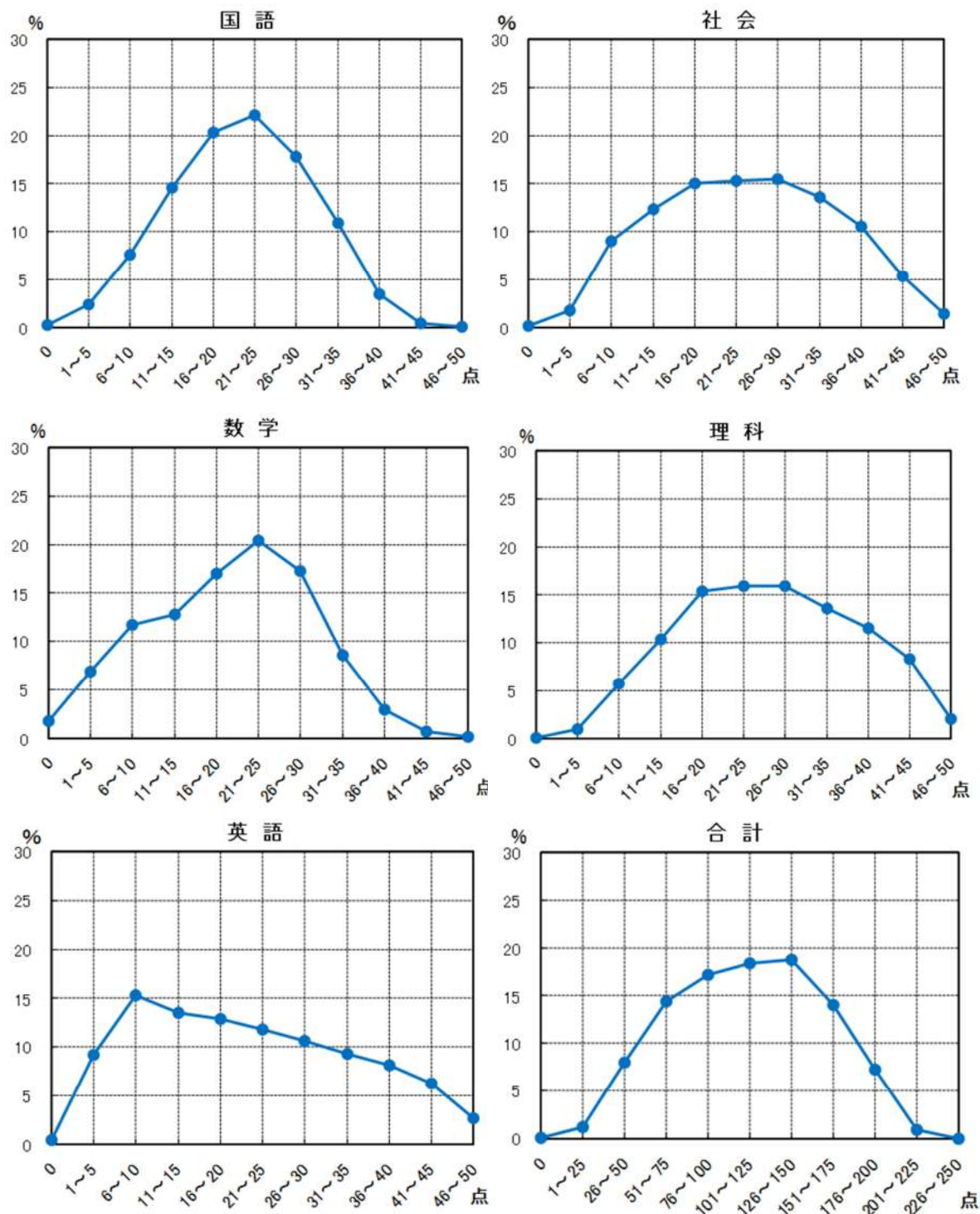
各教科（50点満点）の平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均
令和7年度	21.4	24.4	19.6	26.2	21.4	22.6
令和6年度	29.5	26.9	23.7	26.1	24.1	26.1

各教科（50点満点）の標準偏差

教科	国語	社会	数学	理科	英語
令和7年度	8.3	10.5	9.5	10.4	12.5
令和6年度	8.3	10.1	11.6	10.9	11.9

(各教科の得点分布)



5教科合計について、得点分布の状況を示すグラフの全体の形は、やや中央が高くなった山形になっており、平均点は、単純な経年比較はできないものの、昨年度と比べ下降した。

教科別にみると、国語については、得点分布の全体の形が中央が高くなった山形になっており、平均点は昨年度と比べ下降した。学習を進めていく上での基盤となる

「漢字の読み」と「漢字の書き取り」についての正答率は、それぞれ55.8%、83.0%と「漢字の書き取り」については高いものの、「漢字の読み」については比較的低い。大問別にみると、説明的な文章及び古典についての大問の正答率が比較的低い。

社会については、得点分布の全体の形が台形に近い形になっており、平均点は昨年度と比べ下降した。大問別にみると、地理的分野についての大問の正答率が比較的低い。

数学については、得点分布の全体の形がやや中央が高くなった山形になっており、平均点は昨年度と比べ下降した。今後学習を進めていく上での基盤となる「簡単な数・式の計算」についての正答率の平均は74.9%と高い。領域別にみると、関数についての問題の正答率が比較的低い。

理科については、得点分布の全体の形がやや中央が高くなった山形になっており、平均点は昨年度と比べ大きな変化はない。領域別にみると、「地球」を柱とする領域についての問題の正答率が比較的低い。

英語については、得点分布の全体の形が左側が高くなった山形になっており、平均点は昨年度と比べ下降した。大問別にみると、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、表現内容を工夫してコミュニケーションを行うことについての大問の正答率が比較的低い。

5教科に共通した課題としては、課題解決の場面で、文章・資料等から読み取るなどして得た情報を、既習の知識や学習内容等と関連付けて考察して、自分の考えをもったり判断したりし、その過程や結果を表現することが十分にできていない点が挙げられる。

この点を改善するためには、まず、自然・社会における事象の考察、コミュニケーションの場面などにおいて、目的や状況等に応じて思考・判断したり表現したりするのにふさわしい問いや学習課題を設定して学習指導を行うことが考えられる。そして、生徒が問いや学習課題に答えたり、取り組んだりする過程において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も図りつつ、精査した情報を基に自分の考えを形成し、その過程や結果を文章などによって表現する場面を設けることが重要である。

こうした学習指導を行う上で大切なのは、それぞれの教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることにつながるような問いや学習課題を設定することである。生徒が学習の過程において「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かうような学びにしていけることが重要である。こうした学びの過程においては、生徒が自ら学習を調整しつつ、他者と協働して異なる考え方を組み合わせるなどといった、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることも大切である。

また、高等学校においても、各教科・科目の目標や系統性を理解した上で、義務教育段階の指導状況や生徒の発達段階、生徒の言語能力の状況を踏まえ、単元の構成や指導の在り方を工夫・改善していく必要がある。

Ⅱ 各教科の出題のねらい及び正答率と指導のポイント

国 語

1 出題のねらい及び正答率

現代文（文学的な文章、説明的な文章）及び古典によって、基礎的・基本的な知識及び技能、伝え合う力、思考力や想像力などをみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

一は、文学的な文章について、想像力などを働かせて、場面や登場人物の心情などを的確に捉え、それを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 漢字を正しく書くことができる。（ア 85.7%、イ 88.6%、ウ 74.7%）
- 2 文脈に即して場면을的確に捉えることができる。（82.6%）
- 3 文脈に即して登場人物の言動の意味を的確に捉えることができる。（93.0%）
- 4 文脈に即して登場人物の心情を的確に捉え、それを適切に表現することができる。（29.0%）
- 5 文脈に即して登場人物の心情を的確に捉え、それを適切に表現することができる。（10.2%）
- 6 話の展開に即して登場人物の心情の変化を的確に捉え、それを適切に表現することができる。（Ⅰ 9.4%、Ⅱ 22.1%、Ⅲ 16.3%）

二は、説明的な文章について、思考力などを働かせて、文章の論理的な構成や展開などを的確に捉え、それを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 漢字を正しく読むことができる。（ア 56.7%、イ 61.1%、ウ 49.7%）
- 2 接続する語句の働きについて理解している。（84.8%）
- 3 指示語の内容を文脈の中での的確に捉え、それを適切に表現することができる。（9.4%）
- 4 論理の展開に即して内容を的確に捉えることができる。（4.2%）
- 5 論理の展開に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現することができる。（9.3%）
- 6 目的に応じて必要な内容を的確に捉えることができる。（42.3%）

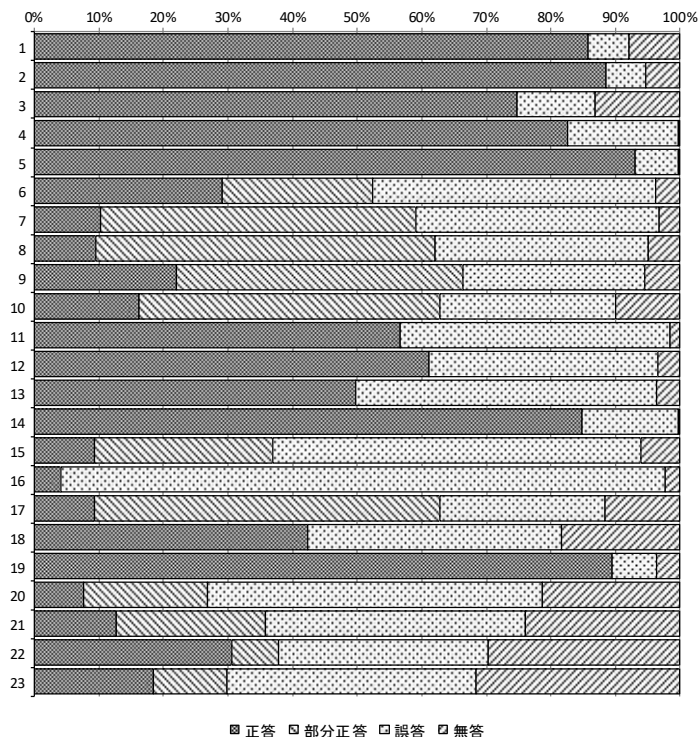
三は、古典について、基礎的な事項の理解、文章の内容などを的確に捉え、それを

適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 歴史的仮名遣いについて理解している。(89.6%)
- 2 文章の展開に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現することができる。
(Ⅰ 7.7%、Ⅱ 12.7%、Ⅲ 30.6%、Ⅳ 18.5%)

※正答率等詳細

国語			1	2	3	4
問題番号			正答	部分正答	誤答	無答
一	1	ア	85.7	0.0	6.5	7.9
一	1	イ	88.6	0.0	6.1	5.3
一	1	ウ	74.7	0.0	12.2	13.1
一	2		82.6	0.0	17.2	0.2
一	3		93.0	0.0	6.7	0.3
一	4		29.0	23.4	43.8	3.8
一	5		10.2	48.9	37.8	3.2
一	6	Ⅰ	9.4	52.7	32.9	5.0
一	6	Ⅱ	22.1	44.2	28.1	5.5
一	6	Ⅲ	16.3	46.6	27.1	10.0
二	1	ア	56.7	0.0	41.8	1.5
二	1	イ	61.1	0.0	35.4	3.5
二	1	ウ	49.7	0.0	46.6	3.7
二	2		84.8	0.0	14.8	0.3
二	3		9.4	27.5	57.0	6.1
二	4		4.2	0.0	93.6	2.2
二	5		9.3	53.6	25.4	11.7
二	6		42.3	0.0	39.4	18.3
三	1		89.6	0.0	6.7	3.7
三	2	Ⅰ	7.7	19.1	51.8	21.4
三	2	Ⅱ	12.7	23.1	40.3	23.9
三	2	Ⅲ	30.6	7.3	32.5	29.6
三	2	Ⅳ	18.5	11.4	38.6	31.5



2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた三の2を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、文章の展開に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、登場人物である吾が師と荒木田久老神主の創作の様子とできあがった作品の特徴の違いを、設定した条件を踏まえて文章でまとめさせる問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなこ

とが考えられる。

【見通し】

- ① インターネットなどで店や商品などのレビューを読んだ経験を想起させ、レビューのイメージをもたせる。その上で、「文章を読み比べてレビューをプレゼンテーションしよう」という言語活動を設定し、学習の見通しをもたせる。

【構造と内容の把握Ⅰ】

- ② 同一のテーマでありながら、異なる立場で書かれた説明的な文章（現代の言葉で書かれたもの）を複数読ませ、文章の構成や論理の展開に即して内容を捉えさせる。内容の把握につまずいている生徒には、段落ごとに内容を捉えさせたり、事実と意見がどのような関係にあるのかなどを捉えさせたりして情報を整理させ、内容を把握できるようにする。

【精査・解釈Ⅰ、考えの形成Ⅰ、共有Ⅰ】

- ③ レビューを書くために、文章を比較する観点として考えられるもの（筆者の考えや論の進め方など）を挙げさせ、学級全体で共有する。共有した観点に基づいて個人で読み比べ、共通点や相違点を見付けさせる。次に、観点に基づく共通点と相違点をグループで話し合わせる。その後、再度比較したり、新たな観点で比較したりして、読んだ文章のレビューをプレゼンテーションソフトを活用して個人で書かせ、グループ内で発表させる。

【構造と内容の把握Ⅱ】

- ④ 同一のテーマでありながら、異なるものの見方や考え方が表れている古典の文章を複数読ませ、文章の構成や論理の展開に即して内容を捉えさせる。内容の把握につまずいている生徒には、適宜現代語訳や語注などを手掛かりにしながら、段落ごとに内容を捉えさせたり、話の展開の中で重要だと考える叙述を捉えさせたりして情報を整理させ、内容を把握できるようにする。

【精査・解釈Ⅱ】

- ⑤ ③の学習活動を想起させ、レビューを書くために、古典の文章を比較する観点として考えられるもの（内容や表現など）を挙げさせ、学級全体で共有する。共有した観点に基づいて個人で古典の文章を読み比べ、共通点や相違点を見付けさせる。次に、グループで観点に基づく共通点と相違点を話し合わせる。

【考えの形成Ⅱ、共有Ⅱ】

- ⑥ ⑤で話し合ったことを基に、古典の文章のレビューの下書きを個人で書かせる。次に、各自の下書きを持ち寄り、グループでプレゼンテーションソフトを活用して古典の文章のレビューをまとめさせる。その後、学級全体でグループごとにプレゼンテーションさせ、観点に基づいたレビューになっているか吟味させる。

【振り返り】

- ⑦ ①～⑥の学習の振り返りを通して、複数の文章を比較する際には、観点を明確にして共通点や相違点を見付けることが大切であることに気付かせる。

社 会

1 出題のねらい及び正答率

地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の3分野にわたって、基礎的・基本的な知識及び技能、各種の資料を活用して考察し判断する能力及び考察した結果を表現する能力をみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 地理的分野

世界の地理に関する基礎的・基本的な知識及び技能、地図・資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 赤道の位置について理解している。（69.3%）
- 2 世界の気候について、地図と資料から読み取ったことを関連付けて考察し、判断することができる。（56.4%）
- 3 世界の宗教について、地図と資料から読み取ったことを関連付けて考察し、判断することができる。（22.8%）
- 4 アメリカの産業について、地図を読み取って考察し、判断することができる。（47.9%）
- 5 建物を高床にする工夫が行われている理由について、地図と資料から読み取ったことを関連付けて考察し、それを表現することができる。（14.2%）

2 歴史的分野

日本の文化を素材として、歴史的事象に関する基礎的・基本的な知識及び技能、資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 奈良時代の文化について理解している。（69.3%）
- 2 摂関政治について理解している。（80.9%）
- 3 奉公について理解している。（36.5%）
- 4 江戸時代の農業について理解している。（39.3%）
- 5 自由民権運動について理解している。また、政府が新聞紙条例を出した理由について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。
（a 53.4%、b 19.7%）
- 6 資料が書かれた時期について、略年表と資料から読み取ったことを関連付けて考察し、判断することができる。（44.4%）

3 公民的分野

日本の地方自治及び経済活動に関する基礎的・基本的な知識及び技能、資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 (1) 地方公共団体について理解している。(29.1%)
(2) 直接請求権について理解している。(48.9%)
(3) 地方財政について、資料を読み取って考察し、判断することができる。
(68.4%)
- 2 (1) 経済活動における経済の三つの主体(家計、企業、政府)の関係について理解している。(63.2%)
(2) 資料中のA店が、公正取引委員会から指導を受ける可能性がある理由について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。(15.4%)

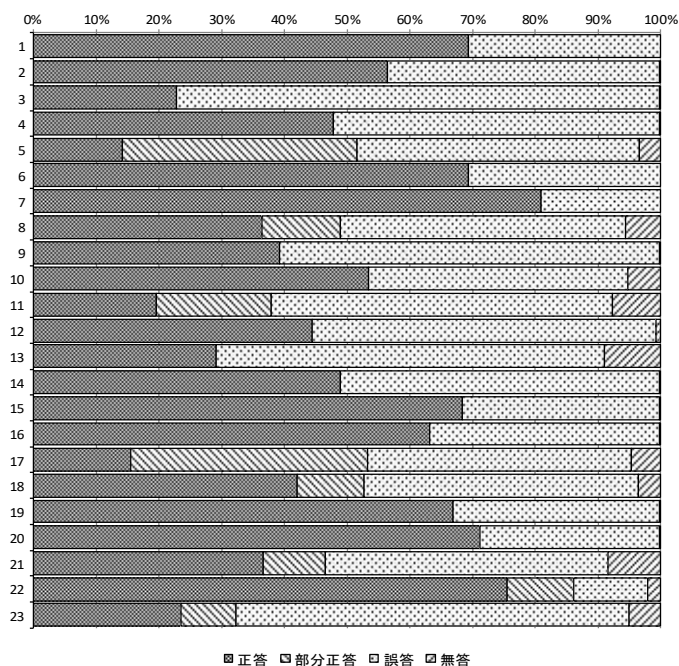
4 総合

昭和と令和のそれぞれの社会の様子を素材として、地理的・歴史的・社会的事象に関する基礎的・基本的な知識及び技能、資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 世界恐慌について理解している。また、景気の安定化を図るための財政政策について、資料から読み取って考察し、判断することができる。
(a 41.9%、b・c 66.9%)
- 2 (1) 太平洋戦争について理解している。(71.1%)
(2) 1960年代後半以降に日本国内産の石炭の供給量が減少した理由について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、それを表現することができる。(36.7%)
- 3 デジタル・ディバイドに関する状況及びスマートフォン教室の取組などによって見込まれる効果について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、それを表現することができる。(A 75.5%、B 23.5%)

※正答率等詳細

社会			1	2	3	4
問題番号			正答	部分正答	誤答	無答
1	1		69.3	0.0	30.6	0.1
1	2		56.4	0.0	43.4	0.2
1	3		22.8	0.0	76.9	0.3
1	4		47.9	0.0	51.9	0.2
1	5		14.2	37.4	45.1	3.4
2	1		69.3	0.0	30.6	0.1
2	2		80.9	0.0	18.9	0.1
2	3		36.5	12.5	45.2	5.7
2	4		39.3	0.0	60.5	0.2
2	5	a	53.4	0.0	41.3	5.3
2	5	b	19.7	18.2	54.4	7.7
2	6		44.4	0.0	54.7	0.9
3	1	(1)	29.1	0.0	61.8	9.1
3	1	(2)	48.9	0.0	50.9	0.2
3	1	(3)	68.4	0.0	31.4	0.2
3	2	(1)	63.2	0.0	36.5	0.3
3	2	(2)	15.4	37.8	42.0	4.8
4	1	a	41.9	10.8	43.6	3.7
4	1	b・c	66.9	0.0	32.8	0.3
4	2	(1)	71.1	0.0	28.6	0.3
4	2	(2)	36.7	9.8	45.0	8.4
4	3	A	75.5	10.7	11.7	2.2
4	3	B	23.5	8.7	62.7	5.1



2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた15を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、世界各地の人々の生活と環境について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、それを表現する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、ロシア東部に見られる建物を高床にする工夫が行われている理由について、地図と資料から読み取ったことを関連付けて、その地域でみられる人間と自然環境との相互依存関係の視点から考察させ、説明させる問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【課題把握（動機付け）】

- ① 教師が、世界各地の人々の生活と環境（例：衣食住の特色や生活と宗教との関わりなど）についての写真を複数提示する。生徒は、その写真を見て、その写真から読み取ることのできる特徴についての気づきや疑問を出し合い、学習

課題（調べてみたい世界各地の衣食住の特色や生活と宗教との関わりなどの地域的特色）を設定する。

【課題追究（情報収集・考察）】

② 生徒は、写真から読み取ることのできる特徴について、個人で教科書やインターネット等を利用して調べ、その特徴を生み出している要因（自然及び社会的条件）を把握する。その上で、①で示された写真とは異なる地域における類似の事例についてインターネット等を利用して調べ、収集した写真や記事等をクラウド上で共有する。情報の収集に当たっては、情報の信頼性に留意させる。

③ 生徒は、②で各自が調べたことをグループ内で説明するとともに、各自が報告した内容の共通点や相違点についてグループで考察し、整理する。その際に、教師は、写真や記事等から必要な情報を読み取ることや複数の資料を関連付けることができている生徒に対して、着目すべき点に気付くことができるよう支援する。

④ 生徒は、②・③で取り組んだ、人々の生活が自然及び社会的条件から影響を受けているという考察とは逆の視点から、人々の生活がそれぞれの場所の自然及び社会的条件に影響を与えている事例について、個人で教科書やインターネット等を利用して調べ、考察する。その上で、各自が調べた情報を全体で共有する。

【課題解決（まとめ）】

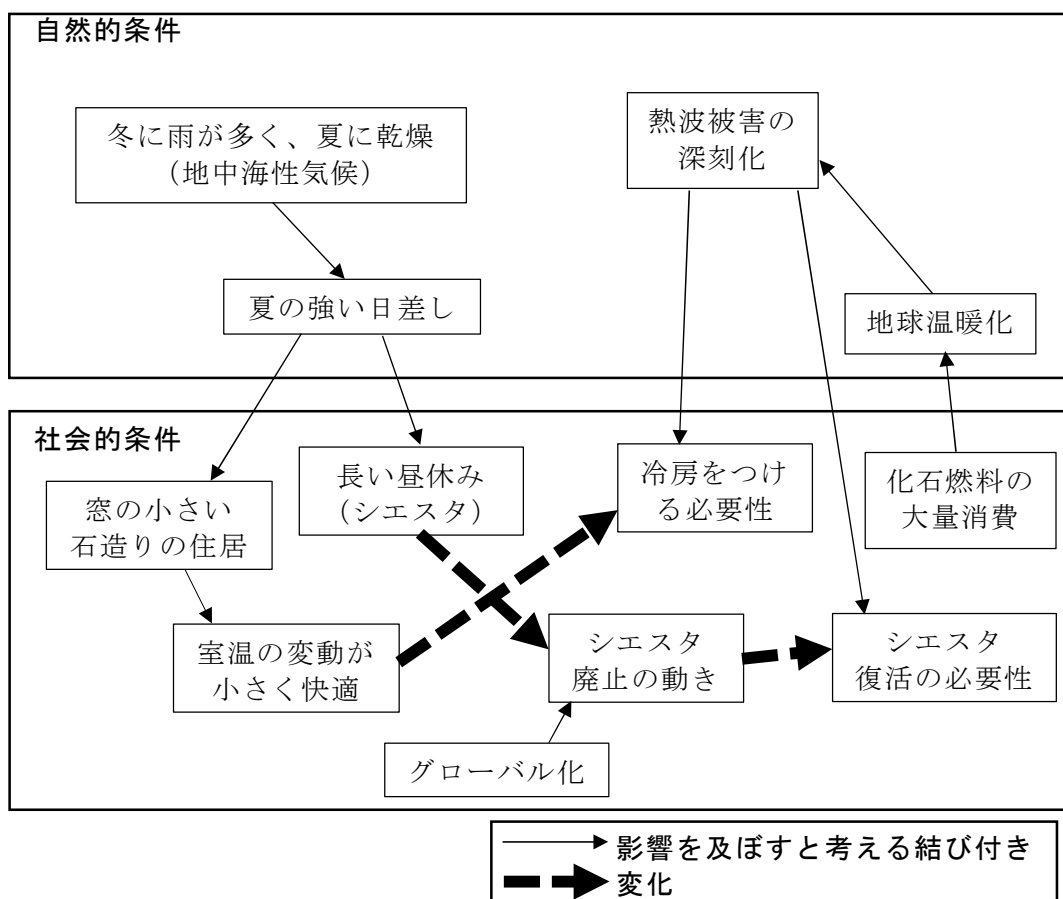
⑤ 生徒は、自然及び社会的条件の相互の関連（人間と自然環境との相互依存関係）について、地域的特色を構成する各事象を矢印で結び付け、結び付け方の意味を自身で問いながらその関係を図にまとめて可視化し、地域的特色を文章として表現する。

⑥ 各自の図と文章をクラウド上で共有し、教師は、いくつかの図と文章を取り上げて、生徒が⑤で着目した自然及び社会的条件の相互の関連に触れながらコメントし、全体で情報を共有する。このとき、グローバル化や情報化といった社会の変化を図に書き加えさせたり、50年後や100年後の地域の姿を予測させたりすることも考えられる。

【新たな課題（振り返り）】

- ⑦ 生徒は、⑥を踏まえて、自分の図に新たな要素を書き加え、人間と自然環境との相互依存関係を基に、地域が現在あるいは今後直面する社会的課題について考察し、その解決に必要な解決策とその解決策がよいと考える理由を自分の意見としてまとめてクラウド上で共有する。

⑤～⑦で生徒が図と文章にまとめた例（温暖な地域の人々の暮らし）



地中海沿岸地域では夏の強い日差しに対応して、窓の小さい石造りの住居やシエスタの文化が発達し、冷房なしでも過ごせていた。

近年では地球温暖化によって熱波の被害が深刻化し、冷房をつける必要性が生まれている。また、グローバル化によってシエスタ廃止の動きがみられるが、熱波被害の深刻化により、屋外作業では再びシエスタの重要性に注目が集まっていることが分かった。

冷房をつけることはさらなる化石燃料の大量消費にもつながるため、伝統的なシエスタを大切にすることは、地球環境を守ることもつながるのではないかと考えた。今後は、シエスタのメリットとデメリットについて、健康や経済などの面からさらに調べてみたい。

数 学

1 出題のねらい及び正答率

数と式、図形、関数及びデータの活用の各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能、数学的な思考力、判断力、表現力をみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

〔1〕 数と式や図形、関数、統計について、基礎的・基本的な知識及び技能をみる問題である。

- （1）正の数と負の数の四則計算をすることができる。（90.2%）
- （2）文字を用いた式の四則計算をすることができる。（86.7%）
- （3）平方根を含む式の計算をすることができる。（80.2%）
- （4）二次方程式を解くことができる。（42.4%）
- （5）与えられた条件を満たす値を求めることができる。（72.9%）
- （6）反比例を表す関数の性質を理解している。（16.1%）
- （7）与えられた条件を満たす柱体の体積を求めることができる。（68.7%）
- （8）データの四分位範囲を求めることができる。（53.6%）

〔2〕 数と式や図形、統計について、数学的な思考力、判断力をみる問題である。

- （1）与えられた条件に基づいて式を考察し、条件を満たす値を求めることができる。（5.9%）
- （2）与えられた条件に基づいて図形を考察し、三角形の周の長さを求めることができる。（16.6%）
- （3）与えられた度数分布表を基に累積相対度数を求め、出場する選手を判断することができる。（45.7%）

〔3〕 数と式について、数学的な思考力、表現力をみる問題である。

具体的な場面で、方程式を用いて与えられた条件を満たす値を求めることができる。（6.3%）

4 関数や図形について、基礎的・基本的な知識及び技能、数学的な思考力をみる問題である。

(1) 与えられた条件を満たす点の座標を求めることができる。(57.2%)

(2) 与えられた条件に基づいて図形を考察し、点の x 座標を求めることができる。
(2.1%)

5 図形について、数学的な思考力、表現力をみる問題である。

(1) 与えられた条件に基づいて図形を考察し、二つの図形が合同であることを証明することができる。(ア 89.9%、イ 89.6%、ウ 61.4%)

(2) 事柄が成り立つ理由を、図形の性質を利用して説明することができる。(1.9%)

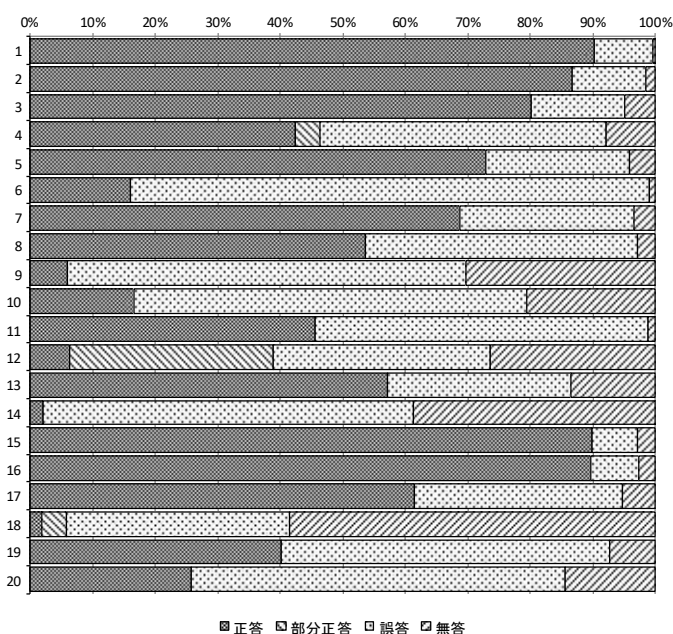
6 確率について、数学的な思考力をみる問題である。

(1) 操作Pについて、与えられた条件を満たす確率を求めることができる。
(40.2%)

(2) 操作Qについて、与えられた条件を満たす確率を求めることができる。
(25.7%)

※ 正答率等詳細

数学		1	2	3	4
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答
1	(1)	90.2	0.0	9.3	0.5
1	(2)	86.7	0.0	11.7	1.6
1	(3)	80.2	0.0	14.8	5.0
1	(4)	42.4	3.9	45.7	8.0
1	(5)	72.9	0.0	23.0	4.1
1	(6)	16.1	0.0	82.9	1.0
1	(7)	68.7	0.0	27.8	3.5
1	(8)	53.6	0.0	43.5	2.8
2	(1)	5.9	0.0	63.8	30.3
2	(2)	16.6	0.0	62.7	20.7
2	(3)	45.7	0.0	53.2	1.2
3		6.3	32.6	34.7	26.4
4	(1)	57.2	0.0	29.4	13.5
4	(2)	2.1	0.0	59.2	38.8
5	(1) ア	89.9	0.0	7.2	2.8
5	(1) イ	89.6	0.0	7.7	2.7
5	(1) ウ	61.4	0.0	33.3	5.4
5	(2)	1.9	3.9	35.7	58.5
6	(1)	40.2	0.0	52.4	7.4
6	(2)	25.7	0.0	59.8	14.5



2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた $\boxed{5}$ (2) を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、図形に関する事柄が成り立つことを、図形の構成要素やそれらの関係に着目して論理的に考察し、事柄が成り立つ理由を的確に表現する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

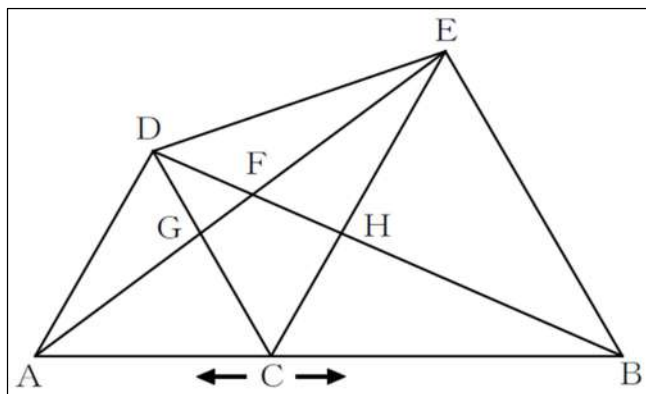
具体的には、コンピュータを利用して、図形について成り立ちそうな事柄を予想した場面を設定し、その予想した事柄が成り立つ理由を、図形の性質を利用して、的確に説明することができるかどうかを問う問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【課題を見いだす】

- ① 教師は、コンピュータを用いて次の図形を生徒に配信して、図形の説明を行い、発問する。



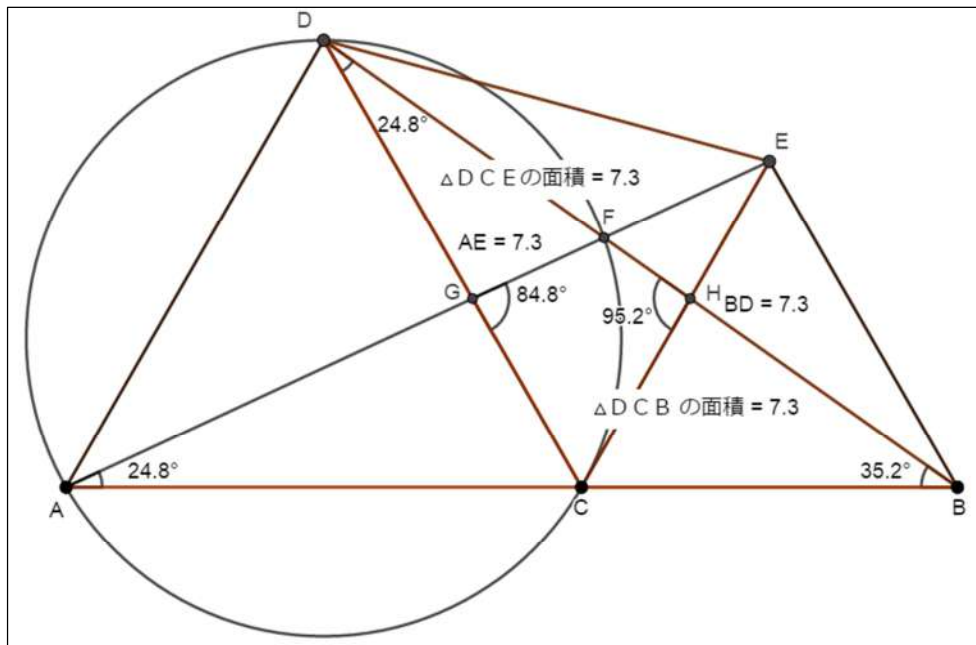
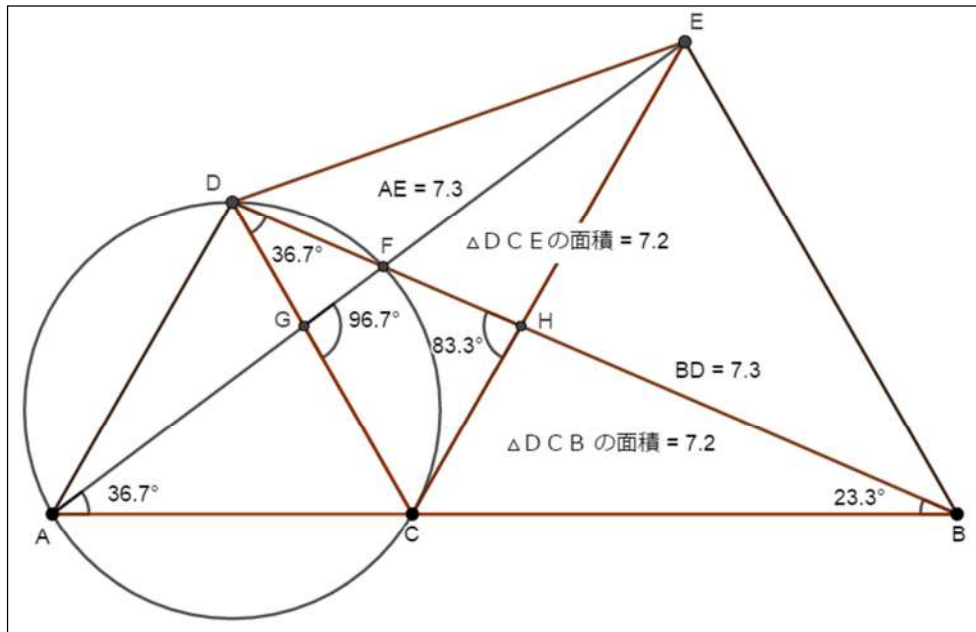
[説明]

線分AB上を動く点Cがあり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形DAC、ECBを、線分ABについて同じ側につくります。点Aと点E、点Bと点D、点Dと点Eをそれぞれ結びます。AEとBDの交点をF、AEとCDの交点をG、BDとCEの交点をHとします。

[発問]

点Cが線分AB上のどの位置にあっても、つねに成り立ちそうなことは何ですか。コンピュータを使って図を観察しましょう。

[観察した図の例]



[予想される生徒の回答]

- $AE = BD$
- $\angle FGC + \angle FHC = 180^\circ$
- $\triangle DCE$ の面積と $\triangle DCB$ の面積は等しい。
- 4点A、C、F、Dは1つの円周上にある。

【課題を自立的、協働的に解決する】 【数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う】

- ② ①で考えたことについて、学級で共有する。共有後、自身や他者が挙げたことのうち、確かめてみたいことを決め、成り立ちそうだとする理由を個人で考えさせる。その後、グループを作り、各自が考察したことをグループで共有させる。理由が分からない場合は、グループで考え解決を図らせる。行き詰まっているようであれば、解決の見通しをもたせるために、次のような支援をすることが考えられる。

例えば、 $AE=BD$ であること理由が分かっているが、 $\angle FGC + \angle FHC = 180^\circ$ であること理由が分かっていない状況であれば、教師は生徒と次のような対話を行うことが考えられる。

生徒：コンピュータで、線分 AB 上で点 C を動かしていけば、 $\angle FGC$ の大きさと $\angle FHC$ の大きさはそれぞれ変化していますが、それらの角の大きさの和はつねに 180° になっています。なぜ、角の大きさの和はつねに 180° になるのでしょうか？

教師： $\angle FGC$ の大きさと $\angle FHC$ の大きさに着目していますが、それらの角は、他の角とどのような関係があるのでしょうか？

生徒： $\triangle GAC$ の内角と外角の関係から、 $\angle FGC = \angle EAC + 60^\circ$ です。また、 $\triangle HCB$ の内角と外角の関係から、 $\angle FHC = \angle DBC + 60^\circ$ です。

教師：そのことから、 $\angle FGC + \angle FHC = 180^\circ$ になるためには、どのようなことがいえればよいのでしょうか？

生徒： $\angle EAC + \angle DBC = 60^\circ$ がいえればよいです。

- ③ 自身やグループで分かったことや考えたことなどを整理させ、自身や他者が挙げたことの証明について個人で取り組ませる。その後、グループで、証明を伝え合う活動を行わせる。その際、他者の証明が、論理的であるかどうかや数学的な表現として適切であるかどうかについて意見交換を行わせる。また、疑問点や気づきが発生すれば、積極的にグループで議論するよう促す。

【課題の解決の過程を振り返って改善を行う】

- ④ ②・③の活動から得たことも踏まえ、取り組んだ証明を見直し、簡潔・明瞭・的確な証明になるよう改善させたり、他の証明を考えさせたりする。その後、本時の学習を振り返り、課題に関して、分かったこと・考えたこと・もっと調べてみたいことなどを記述させる。

理 科

1 出題のねらい及び正答率

第1分野及び第2分野ともに、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

〔1〕 第1分野及び第2分野について、基礎的・基本的な知識及び技能をみる問題である。

- 1 図を基に、電力を求めることができる。（61.0%）
- 2 音の大小と振幅の関連、音の高低と振動数の関連について理解している。（60.3%）
- 3 分子について理解している。（55.8%）
- 4 燃料電池について理解している。（40.2%）
- 5 節足動物について理解している。（93.3%）
- 6 細胞分裂の進行する順序について理解している。（83.9%）
- 7 銀河系について理解している。（52.0%）
- 8 与えられた条件を基に、S波が到達するまでの時間を求めることができる。（47.2%）

〔2〕 気象とその変化を素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

- 1 （1）日本の天気の特徴について理解している。（37.1%）
（2）天気図を基に、等圧線の間隔と風の強さとの関係について考察し、それを表現することができる。（12.0%）
- 2 与えられた条件を基に、空気の質量を求めることができる。（28.1%）
- 3 夏から秋にかけて日本列島に接近する台風の進路の傾向について理解している。（58.5%）

③ 動物の体のつくりと働きを素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

- 1 感覚器官について理解している。(75.2%)
- 2 反応の仕組みについて理解している。(83.3%)
- 3 反射について理解している。(82.3%)
- 4 ヒトの腕の、骨の構造と、筋肉のつき方について、図に基づいて表現することができる。また、筋肉の動きについて理解している。(a 4.0%、b 74.4%)

④ 身の回りの物質を素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

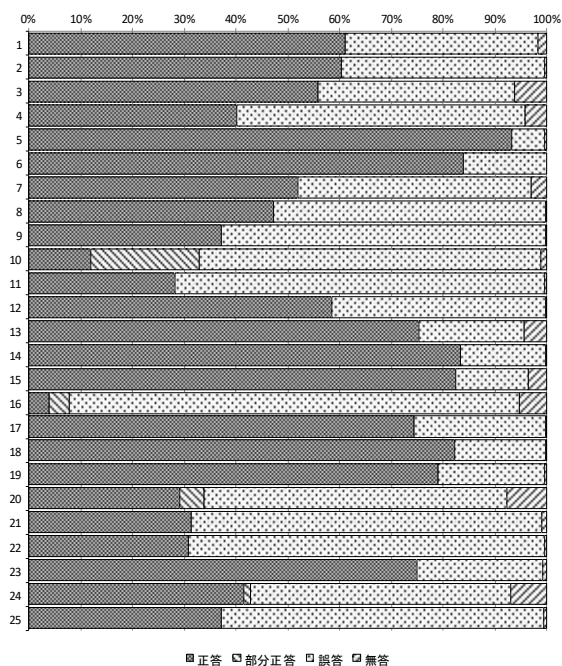
- 1 状態変化における体積と質量の変化について、粒子のモデルを基に考察することができる。(82.2%)
- 2 (1) 実験の結果を基に、エタノールの割合が最も大きい液体について考察することができる。(79.1%)
(2) 蒸留について理解している。(29.2%)
- 3 溶解度曲線を基に、結晶として取り出せる物質の質量を求めることができる。(31.3%)

⑤ 力の働きと運動の規則性を素材として、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

- 1 (1) 斜面上を下る小球の速さが増加する割合の変化について、実験の条件と関連付けて考察することができる。(a 30.8%、b 74.9%)
(2) 実験の方法や結果を基に、小球から手をはなした高さと、斜面上を下る小球の速さが増加する割合との関係について考察し、それを表現することができる。(41.5%)
- 2 与えられた条件を基に、斜面上を上る小球の速さの変化について考察することができる。(37.2%)

※正答率等詳細

理科				1	2	3	4
問題番号				正答	部分正答	誤答	無答
1	1			61.0	0.0	37.2	1.8
1	2			60.3	0.0	39.3	0.5
1	3			55.8	0.0	37.9	6.3
1	4			40.2	0.0	55.5	4.3
1	5			93.3	0.0	6.2	0.5
1	6			83.9	0.0	16.0	0.1
1	7			52.0	0.0	44.9	3.1
1	8			47.2	0.0	52.6	0.2
2	1	(1)		37.1	0.0	62.6	0.3
2	1	(2)		12.0	20.9	65.8	1.3
2	2			28.1	0.0	71.4	0.5
2	3			58.5	0.0	41.2	0.3
3	1			75.2	0.0	20.5	4.3
3	2			83.3	0.0	16.5	0.3
3	3			82.3	0.0	14.0	3.7
3	4	a		4.0	3.8	86.8	5.4
3	4	b		74.4	0.0	25.3	0.3
4	1			82.2	0.0	17.5	0.3
4	2	(1)		79.1	0.0	20.4	0.5
4	2	(2)		29.2	4.7	58.5	7.7
4	3			31.3	0.0	67.6	1.0
5	1	(1)	a	30.8	0.0	68.8	0.4
5	1	(1)	b	74.9	0.0	24.3	0.7
5	1	(2)		41.5	1.1	50.2	7.1
5	2			37.2	0.0	62.1	0.7



2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた51を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、実験の方法や結果を基に、斜面上を下る物体の速さを変化させる条件について考察する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、斜面上を下る小球の質量や水平面からの高さ、斜面の傾きを変えたときの、小球の平均の速さと時間との関係を基に、斜面上を下る物体の速さを変化させる条件について考察させる問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【課題の把握】

- ① ペダルをこがずに自転車で坂を下るときの場面を想起させ、自転車に乗っている人や坂の勾配などによって坂を下る自転車の速さの変わり方に違いがあるかどうかを考えさせる。続いて、「斜面上を下る物体の速さの変わり方は、何と

どのような関係があるだろうか。」と問いかけ、そのことを調べるための方法を考えさせる。

【課題の探究】

② ①の問いについて、個人で仮説を設定させた後、同じような仮説を設定した生徒どうしでグループをつくり、グループでの仮説を各個人の仮説を踏まえて設定させる。グループで設定した仮説を確かめるため、その仮説に関わる条件について、変える条件と変えない条件を表に整理して考えさせながら、必要な実験の道具や方法など、実験の計画を具体的に考えさせる。実験の道具は、斜面用の板、斜面をつくる台、力学台車などをそれぞれ複数準備し、計画の段階で、生徒が自由に組み合わせて考えられるようにしておく。

③ ②の後、各グループで考えた実験の計画について、仮説に対して適切であるかどうか、他のグループと意見交換させる。交換した意見を踏まえて、適宜各グループで仮説や実験の計画を修正させる。

④ ③で計画した実験の安全性を教師が確認した後、各グループに実験を行わせる。教師は、各グループに、実験の結果を分析させ、仮説の妥当性を検討させるなど探究の過程を振り返らせる指導を行う。その際に、必要に応じて、仮説や実験の計画を再び考えさせ、実験をやり直させる。

【課題の解決】

⑤ 各グループで、自身のグループの実験の結果から導き出される①の問いに対する答えを考えさせ、②から④の仮説や実験の計画、実験の結果なども含めて、レポートにまとめさせる。作成したレポートは、クラウド上などでクラス全体に共有する。

⑥ 自身のグループや、共有した各グループのレポートの内容を基に、①の問いに対する答えを個人で考えさせ、その内容をワークシートに記述させる。記述の例としては、「斜面の傾きが大きいほど、斜面上を下る物体の速さの増加する割合は大きくなる。」、「小球の質量は、小球の速さが増加する割合に関係しない。」などが考えられる。最後に、ここまでの学習を振り返らせ、次の探究につなげる。

英 語

1 出題のねらい及び正答率

英語で簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図るために必要な知識及び技能、思考力、判断力、表現力を総合的にみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 英語による放送を聞き、その内容を理解する能力及び自分の考えを表現する能力をみる問題である。

- A 対話の概要や要点を理解し、質問に対する応答として最も適切な英文や図を選ぶことができる。（No.1 53.9%、No.2 69.4%、No.3 79.5%）
- B 対話の概要や要点を理解し、対話を続けるための質問を英文で書くことができる。（12.2%）
- C 英文の概要や要点を理解し、質問に対する自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書くことができる。（13.1%）

2 会話文を読み、その内容について総合的に理解する能力をみる問題である。

- 1 英語の特徴やきまりを踏まえて、適切な表現を選ぶことができる。（38.6%）
- 2 会話文の流れに合った適切な表現を選ぶことができる。（70.6%）
- 3 会話文の内容を的確に捉えることができる。（53.8%）
- 4 会話文の流れに合った適切な英文を選ぶことができる。（59.4%）
- 5 会話文の概要や要点を理解し、適切な表現を選ぶことができる。
（a 42.8%、b 30.6%、c 32.5%、d 52.2%）

3 長い文章を読み、その内容について総合的に理解し表現する能力をみる問題である。

- 1 文章の内容について、英語による質問に英語で適切に応答することができる。
（（1） 56.6%、（2） 16.7%）
- 2 適切な英語の表現になるように、与えられた語を並べかえることができる。
（43.3%）
- 3 文章の展開を的確に捉え、英文の入るべき位置を選ぶことができる。（45.7%）
- 4 文章の流れに合った適切な語を考えて書くことができる。（17.5%）
- 5 文章の内容に合った適切な英文を選ぶことができる。（41.3%）

6 (1) 文章の概要や要点を理解し、感想文の流れに合った内容を本文から抜き出すことができる。(26.2%)

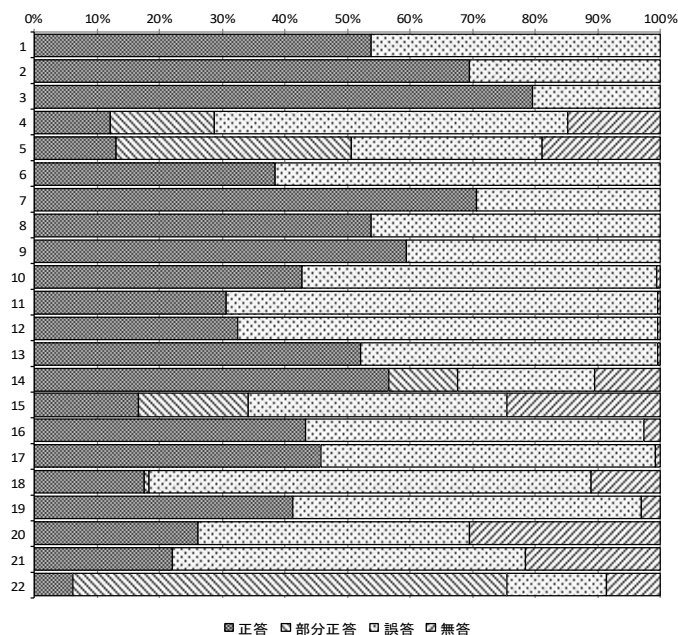
(2) 英語の特徴やきまりを踏まえて、文脈に合った適切な表現を考えて書くことができる。(22.1%)

4 コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、表現内容を工夫してコミュニケーションを行う能力をみる問題である。

日常的な話題について、自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くことができる。(6.1%)

※正答率等詳細

英語			1	2	3	4
問題番号			正答	部分正答	誤答	無答
1	A	No.1	53.9	0.0	46.1	0.1
1	A	No.2	69.4	0.0	30.5	0.1
1	A	No.3	79.5	0.0	20.5	0.1
1	B		12.2	16.5	56.5	14.8
1	C		13.1	37.5	30.4	19.0
2	1		38.6	0.0	61.4	0.1
2	2		70.6	0.0	29.3	0.1
2	3		53.8	0.0	46.1	0.1
2	4		59.4	0.0	40.4	0.1
2	5	a	42.8	0.0	56.6	0.6
2	5	b	30.6	0.0	68.9	0.5
2	5	c	32.5	0.0	67.0	0.5
2	5	d	52.2	0.0	47.4	0.5
3	1	(1)	56.6	11.0	21.8	10.6
3	1	(2)	16.7	17.5	41.3	24.6
3	2		43.3	0.0	53.9	2.7
3	3		45.7	0.0	53.4	0.9
3	4		17.5	0.8	70.5	11.2
3	5		41.3	0.0	55.6	3.1
3	6	(1)	26.2	0.0	43.4	30.4
3	6	(2)	22.1	0.0	56.3	21.6
4			6.1	69.3	15.9	8.7



2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた3 6 (1) を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、英語で書かれた本文を読み、概要や要点を理解し、文章の流れに沿って内容を捉えて表現する力が養われているかをみる問題である。

具体的には、海外に短期留学した高校生が体験したことについて書いた英語の記

事を踏まえて、その記事に対する感想文中の空欄に当てはまる適切な表現を本文から抜き出す問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【コミュニケーションの目的や場面、状況等の理解】

- ① 「意見文を読んで概要や要点を捉える」という単元において、「外国の人にその人の意見に対する自分の意見を知ってもらうために、意見文を読んで概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見を書くことができる」という単元の目標を設定し、生徒と共有する。話題として、海外と日本の学校生活の相違点など、生徒にとって身近な話題を取り上げる。また単元の終末に、姉妹校からの留学生が書いた意見文を読み、それに対する自分の意見を書くという言語活動を行うことを告げる。

【目的に応じた発信までの方向性の決定・言語活動の見通し】

- ② 単元の終末の言語活動に向け、意見文を読んで概要や要点を捉えるために留意するポイントを考えさせる。まず生徒にモデルとなる英文を読ませ、留意するポイントを個人で考えさせて、その後、学級全体で共有する。留意するポイントとしては、例えば、
- ・各段落内のはじめの数文に着目して各段落の主題を捉えること
 - ・繰り返し用いられている語句に着目してキーワードを見付けること
 - ・賛否や主張、結論など自分の意見を伝えるのに使われる語句に着目して最も伝えたいことを捉えること
- などがあることを理解させる。

【目的実現のための言語活動】

- ③ A L T が書いた、海外と日本の学校生活に関する意見文を読み、概要や要点を捉える活動を行う。その際、②で理解した概要や要点を捉えるために留意するポイントを意識させる。読んだ後に各自で数文の要約を書かせ、グループの中で概要や要点が捉えられているか、本文中の根拠となる表現や文を示しながら確認させる。その後、全体で概要や要点を確認する。

- ④ ③で読んだ意見文に対する自分の意見を書く言語活動を行う。書く際に、②で

着目した、自分の意見を伝えるのに用いられていた語句を自分でも使ってみるよう促す。書いた意見文をペアで共有させ、③で捉えた概要や要点に基づいた意見になっているか、また自分の意見を伝えるのに適した表現が用いられているかを評価させる。

【単元終末の言語活動】 【まとめと振り返り】

- ⑤ 単元の終末に、姉妹校からの留学生が書いた海外と日本の学校生活についての意見文を読み、捉えた概要や要点を基に自分の意見を書く言語活動を行う。生徒はペアで互いが書いた意見文を読み、筆者の意見を基に自分の意見が書けているかという観点と、自分の意見を伝えるのに適した表現が用いられているかという観点から相互評価をする。また、教師が生徒の書いた意見文の中でよかったものをいくつか紹介する。その後、各自で自分の意見文の推敲をさせる。



Ⅲ 令和7年度学力検査問題、採点基準

×

×

国語 (9:10~10:00)

注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから12ページに、問題が1から3まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号 第 番

ー 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学二年生の白岡六花は、小学生のときに、同級生の春山早緑から「え、なんでこんなしょうずに描けるの？ ガハクじゃん！」と描いていた絵をほめられた。これをきっかけに、六花と早緑は仲を深めていった。しかし、二人は、あることでけんかをして、現在は距離をおいている。六花が、そのことを同級生の黒野という男子生徒に話すと、黒野は「じゃ、なかなかおりのチャンスが来たら、逃すんじゃないぞ。」と言った。

去年の二学期。十月の半ばのことだ。
それまで、私と早緑は、まだいっしょにいた。クラスはちがつたけれど、私は早緑の部活が終わるのを待って、いっしょに帰った。
きっかけは、部活のぐち——ほんとうに、ささいなこと。
いやなことがあって。それを友だちに聞いてもらって。そうして、なんとなくすっきりする。そんなの、だれだってしていること。とくにめずらしくもない、ふつうのこと。
なにも特別じゃない。日常のひとつコマ。
上校先生には言えなかったほんとうの気持ち。ずつとがまんして、のみこんで、黒々とした顔のようにたまっていた感情。私はそれを、早緑に聞いてほしかった。
あの子なら、いっしょにおこってくれろと、そう思ったから。
「……どうしてみんな、ちゃんと絵を描かないんだろう。」

私は美術部で、のことを話して、最後にこう言った。
「ほかみたい。まじめにやらないなら、やめたらいいのに。」
それ、ほんとひどい——そう言ってくれると思った。
六花は悪くないって。なにがまちがってないって。
なくさめてくれるって、励ましてくれるって、信じていた。
だけど、そうじゃなかった。早緑はいやそうな顔で、吐きすてるみたいに言った。
そんなの、しょうがないよって。
「だって、六花みたいに、才能がある子ばかりじゃないでしょ？」
「だれだってさあ、どうしても勝てない人を見たら、やる気もなくなっちゃうよ。」
そう言って、早緑は美術部の子たちの□。私の味方じゃなくて、あの子たちの味方をした。あの子たちがまじめにやっていないのは、私のせいみたいな、そんな言い方をして、私のことを責めた。
ショックだった。それから、怒りがわいてきた。
でも、何度説明しても、早緑はわかってくれなくて。
それどころか、どんどんきげんになっていって。
①「いいよね、白岡画伯は。」
最後に、早緑は言った。
「好きなことがちゃんとあって。得意なことがちゃんとあって。幸せじゃん。それ。」
早緑のその言葉で、そのときの表情で。
私にはわかった。わかりたくなかったけれど。

国一1

私たちは、おたがいにわかりあえないんだってことが、わかってしまった。

帰り道のとちゅう、私はコンビニの向かいにある公園に立ちよった。

通学路にあるこの公園には、小学校のころからよく来る。まえば、あの子もいっしょに。いっしょじゃなくなった今でも、ときどき。すみっこにあるベンチに腰かけて、遊んでいる子たちをぼんやり見て、気が向けばスケッチもする。

すべり台で遊んでいるちいさな子。そのむこうの広場で、キャッチボールをしている小学生たち。

スケッチブックを広げて、でも、鉛筆をにぎる手に力が入らなかった。「……好きで、絵を描いているだけ。」

ひとり、ちいさくつぶやく。

それだけなのに、どうして責められないといけないのだろう。

私は絵を描くのが好きで、得意で、それは才能とか、努力とか、いろいろな言葉で表されるかもしれないけど、少なくともなにかしらの価値があるもので、あの子が言うように、幸せなことにはちがいない。

だけど、絵を描くのがいくら幸せだつて、いつも楽しいわけじゃない。苦しいときだつてある。さびしいときだつてある。

そんな気持ちを分かちあいたいと思うのは、欲張りなのかな。好きなことがあるつていうだけで、満足しないといけないのかな。

それ以上のことを望んではいなかったのかな……。

いつのまにか、公園から子どもたちはいなくなっていた。

私はベンチの上でひざを抱いた。目をつぶって、ちいさく息を吐く。

い。

「だれに聞いたの？」

「くろ……いや、いいじゃん。そのことは。」

早緑、^⑦チレているみたい。私はくすんと笑った。

「六花は、どうしたの？ またスケッチしてたの？」

「……しようと思っただけど、気分が乗らなくて。」

私の言葉に、早緑は眉間にきゅっとしわをよせる。それから、すたすたと歩いてきて、となりにすわった。カバンをベンチに置いて、足をばたばたさせる。

「なんか、ひさしぶりだね。」

毒にも薬にもならないような私の言葉を無視して、早緑は言った。

「六花、やっぱりまだ、部室で絵を描かないんだね。」

私はだまっていた。なんて言ったらいいのか、ひとつも思いつかなかった。

しばらくして、早緑は口を開いた。

「あのね、六花。あたしよ、ずつと言いたかったことがあって。」

その真剣な声に、覚悟を決めたような表情に、さつと心が冷えるのを感じた。無意識に体がきゅつと^⑧ササ、こまっつて、ようするに私はこわがっているらしい。

わかったからだ。早緑が、あの日の続きを話そうとしているって。逃げだそうかと、一瞬思った。

このまま立ちあがつて、ふり返らずに立ち去ってしまおうか、と。だけど……。

そもそも、どうして絵を描くのが幸せだつて、思っただんだけ。

私はどうして、絵を描いているんだっけ……。

——え、なんでこんなにようずに描けるの？ カハクじゃん！

脳裏に響くあの日の声。そつと、眼鏡のつるに手をふれる。

そのとき、私はようやく、自分の気持ちに気づいた。

「見つけ！ つて、あれ……？」

そんな声をして、私は顔をあげた。心臓が止まるかと思った。

「おかしいなあ。いたと思っただんだけと。」

そう言いながら、すべり台の下をのぞきこむボニーテール。

思わず、声もれた。

「早緑……？」

結わえた髪がなびく。ふり返った早緑の目が、びつくりしたように大きくなる。

「六花。」

沈黙があつた。

早緑は気まずそうだった。そうだろうな、と私は思う。私だつて気まずい。だけど、いつまでもだまっているわけにはいかない。おずおずと、こんなことをたずねた。

「……『見つけ』つて、なんのこと？」

「え？ あ、うん。そうね。あのー、野良ネコがね、公園にいるつて聞いてさ。」

こまかすように笑う早緑。私はうなずいた。

正直ちよつとおもしろかつた。でも、どんな顔をしていいかわからな

——じゃ、なかなかおりのチャンスが来たら、逃すんじゃないぞ。

「……なに？」

しほりだした声はかすれていた。早緑はうなずく。

「あの、こんなこと今言つてもしょうがないのかもしれない。六花のこと、こまらせたいらめん。でも、言わなきゃつて、ずつとずつと、そう思つてた。」

何重にも予防線を張るように前置きをしてから、早緑はためらいがちに言った。

「あたしさ……ほんとのこと言つて、毎日泣いてたんだ。あのころ。」

泣いてた？

「……私とけんかしてから、つてこと？」

早緑は首を横にふった。

「ううん、ちがうちがう。そうじゃなくて、そのまえから。」

「そつか……うん。」

^⑨ちよつとびり期待して、それからがつかりした自分が、ひとくはずかしい。

つて……え？

「私とけんかする、まえ？」

早緑はうなずく。

「陸上部の練習が、いやでいやで。みんな、あたしよりずつと足が速くてさ。練習もきつくて、ぜんぜんついていけないかつた。先輩にわいし。しよつちゅうおこられてたし。ほんと、毎日毎日、つらくてしょうがない。家でめそめそ泣いてたの。」

私はとなりを見た。なつかしい、早緑の横顔。遠くを見つめる黒い瞳。

「でも、六花には言えなかった。そんなこと、ぜったい言えなかった。はすかしかったから。一生懸命、絵を描いて、努力を楽しむことができる六花に、そんなこと、言えなかった。まぶしかったよ。あたしは六花のことが、ずっとまぶしかった……だからさ、あの日。あたし、責められてるような、そんな気がしちゃったんだよ。」

——ばかみたい。まじめにやらないなら、やめたらいいのに。

④ あの日、自分が放った言葉が、どこか遠くで響いた。

早緑はうしろ向きに笑った。ぼつぼつ、抱えていた気持ちをこぼすように、言葉を吐く。

「あたしもさ、意地になっちゃって。あたしのことにやらないの。六花がきずついていたの、わかってたのに。でも、あたしもさ、あのとき、ほんとにつらかった。大好きだった友だちに、自分のことを否定されて、いるような、気持ちがしてさ。だから、あんなこと言っちゃった。六花に、ひどい言い方、しちゃった。ほんとうに……。」

そう言つて、おずおずとこちらを見た③早緑の顔が、固まる。

「六花？」

「……ごめん。」

「え、いや、ごめんごめん。あの、なに？ 泣かないで。ちょっと……あ、ハンカチ。」

あわあわとポケットをさぐる早緑。私はふるえていた。

景色がにじんで、ぼろぼろとこぼれて、息をするのもつらかった。なにが、「わかりあえない」だ。

- ⑦ ㊦ のカタカナに当たる漢字を書きなさい。
- に当てはまる最も適切な表現を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。
ア 背中を押した イ 腕を上げた
ウ 足を洗った エ 肩を持った
- ① いいよね、白岡画伯は とあるが、早緑がこの発言をした意図として最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。
ア 迎合 イ 賞賛 ウ 皮肉 エ 共感
- ② ちょっとづいり期待して とあるが、六花はどのようなことを期待したのですか。三十五字以内で書きなさい。
- ③ 早緑の顔が、固まる とあるが、早緑の顔が固まったのはなぜですか。三十字以内で書きなさい。

わがわがとしなかったのは、私のほうだった。

自分のことでいっぱい、早緑の気持ち、考えたこともなかった。

さんざん被害者のような顔をしてたくせに、ほんとうに悪いのは私だった。

私、早緑のこと、きずつけてたんだ。

「ばら、ちょっと眼鏡外して。あ、鼻もたれてるよ、もう……。」

そう言つて、私の顔をハンカチでぬぐう早緑。私はしゃくりあげながら、くり返す。

「ごめん。ごめんね、早緑。ほんとうにごめんなさい……ごめんなさい……。」

「ううん、いいから。もういいんだよ。あたしこそ、ごめん……ああ、まづつたな。泣かれると思わなかった。つていうか、六花も泣くんだった。はじめて見たよ。」

あはは、と④カロー やかに笑う早緑。

(村上 雅都 「きみの話を聞かせてくれよ」による。)

(注) 澱 = 液体の底に沈んだかす。

- ④ あの日、自分が放った言葉が、どこか遠くで響いた という描写について、国語の時間に、生徒が班で話し合いをしました。次の【生徒の会話】はそのときのものです。これを読んで、空欄Ⅰに当てはまる適切な表現を、三十字以内で書きなさい。また、空欄Ⅱ・空欄Ⅲに当てはまる適切な表現を、それぞれ四十五字以内で書きなさい。

【生徒の会話】

清水： 「自分が放った言葉」とは、この描写の直前の言葉だよ。

藤井： そうだね。「ばかみたい。まじめにやらないなら、やめたらいいのに。」の直前の「——」は、六花が何かをきっかけに、思い出した言葉であることを表しているのだからと思うよ。

川上： 六花が、その言葉を言ったときには、ただ（Ⅰ）という気持ちで言ったけど、早緑にわかってもらえずに、二人は距離をおくようになったんだよね。

村上： うん。六花はそういう気持ちで言った言葉だけど、当時の早緑は、（Ⅱ）ように感じてしまったんだよね。

川上： そうだね。六花は、早緑から当時の気持ちを聞いて、はじめて（Ⅲ）ということに気付いたんだよね。

清水： なるほど。「どこか遠くで響いた」という描写は、そのことに気付いて自分が言った言葉が呼び起こされたということかもしれないね。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人工知能が拓いていく新しい文明の夜明け前に行くと、かすかに色づいてきた地平線を見ている。そんな状況の中で、人類が長く親しんできた主語「わたし」が、「わたしたち」へと移行し始めている。新主語「わたしたち」の共鳴音が、低く静かに世界に響き始めているようだ。

グレンタ・トクリンベリさんの「科学に耳を傾けなさい」という^①情熱的な主張は、イスマやイデオロギーを超えた、さらには自我すら乗り越えた独特のトーンをもっている。確かにCOVID-19の問題も、気候変動の問題も、「わたし」に降りかかった^②災厄ではなく「わたしたち」が直面している問題である。

新時代に向き合う若い世代のリーダーたちは、多言語に通じていて、地球の裏側で発せられた新聞記事や、エッセイ、あるいは科学論文ですら、すみやかに読みこなし、共有し、ネットを通して世界中に行き渡らせている気配がある。質の良いメールマガジンやニュースは刻々と変化する動向を正確に捉えていて、^③そこでは世界の理性と感性の界面に直に^④触れているような興奮がある。インターネットの世界は一見^⑤エゴが剥き出しになって見えるが、それは表層の出来事であり、深層においては、しなやかに受容力に満ちた新しいインテリジェンスの^⑥潮流が生まれ始めているように感じる。

日本の経済が興隆していた一九六〇年代から八〇年代にかけては、「あなたらしく」とか「わたしらしく」という、個人のアイデンティティを無条件に肯定する態度が^⑦称揚されていた。「あなたの好きなこ

問題は、次のページに続きます。

とを見つけてください」とか「世界にたったひとつのあなた」というような、考えようによっては不自然なほどに個の事情を社会に優先させる価値観も蔓延^⑧していた。戦前の全体主義への反省として個人の尊厳を尊ぶ考え方はもちろん共感できる。**a** 近年、「わたしつて……じゃないですか」というような不思議な付加疑問形で自己の嗜好^⑨を押し付ける語りの圧力や、偏差を個性として振りかざす姿勢には疑問を覚え始めていた。このような「わたし」はインターネットの**b**では徐々に払拭^⑩されつつある。

そもそも「わたし」とは何だろうか。ヒトという生物は、身体を駆使して活動しながら、^⑪敏捷に食物を摂取し、自らを維持存続させていかなくてはならない忙しい動物である。したがって、身体のあるゆるセンサーから得た情報は、「脳」という中枢に集められ、素早い決断が下される。活発に活動する脳は、その個体が生きながらえていくための「適正な動作」を、身体各パーツに向けて発令し続けるのである。そういう意味で、^⑫ヒトは植物のような生命体とは異なる生存戦略を生み出してきた。「生」あるいは「生命」は、世代や個体を超えて^⑬滔々^⑭と受け継がれていくものであるはずだが、「一世代限りの個体」に対する最適解が集中して模索され続けた結果、ヒトの脳はうっかり「わたし」という幻想を生み出してしまった。そんな風に考えられないだろうか。

現在のように、汚染されつつある地球環境や、国家が相互にエゴを剥き出しにしてせめぎあっているような世界を眺めていると、ヒト（ホモ・サピエンス）が生きながらえるには、「わたし」という一世代・一個体にしか適用できない概念に限界が生じ始めているように感じざるをえ

ない。若い世代が「わたし」を脱却し、「わたしたち」という感覚で活動し始めているのは、環境の危機を察知し、本気で生きながらえたいと救いを求めるホモ・サピエンスの本音、あるいは進化への本能的な身じろぎなのかもしれない。

(原 研 哉 「低空飛行」による。)

- (注1) 伶俐 = 賢いこと。
- (注2) イズム = 主義。
- (注3) イデオロギー = 政治的、社会的なものの考え方。
- (注4) エゴ = 自我。
- (注5) インテリジェンス = 知性。
- (注6) アイデンティティ = 自分らしさ。

6 国語の授業で、次の【記事の一部】を読みました。あとの【ノート】は、ある生徒が本文と【記事の一部】を読んで考えたことをまとめたものです。これらを読んで、【ノート】の空欄Ⅱに当てはまる最も適切な表現を、本文中から十八字で抜き出して書きなさい。

【記事の一部】

今生きている私たちが不適切な判断をして将来の地球環境問題や社会問題などを悪化させてしまった場合、一番困るのは将来の人々です。特に、地球環境はすぐに元通りにはなりません。気候変動の被害が大きくなるような状態になってしまつたら、その状態がしばらく続き、その結果、将来の人々の利益や権利、自由を脅かしてしまいます。ドイツでは憲法裁判所が将来世代の観点から政府の気候変動対策を不十分と判決し、現世代の政府に再考を求めました。私たちは将来の人々が気候変動の被害や生態系破壊によって困らないように、しっかりと考えなければならない時代に生きています。

しかしながら、人々は、将来のことよりも現在のことを大切にしがちです。

※ここで言う「将来の人々」には、若者のようなすでにこの世に存在している人々も含まれれば、まだ生まれていない人々も含まれる。

(国立環境研究所ウェブサイトによる。)

- 1 ㉗㉘の漢字の読みを書きなさい。
- 2 a に当てはまる最も適切な語を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。
ア つまり イ しかし ウ だから エ そして
- 3 ㉑は何を指していますか。四十字以内で書きなさい。
- 4 b に当てはまる最も適切な語を、文章中から二字で抜き出して書きなさい。
- 5 ㉒は植物のような生命体とは異なる生存戦略を生み出してきたとあるが、ヒトの生存戦略は、どのようなものですか。ヒトの生存戦略について述べた次の文の空欄Ⅰに当てはまる適切な表現を、この文章における筆者の主張を踏まえて、八十字以内で書きなさい。
植物とは異なり、(Ⅰ)という生存戦略。

【ノート】

【記事の一部】で述べられているのは、本文の「わたし」ではなく「わたしたち」という主語で、地球環境問題や社会問題を考える必要があるということではないだろうか。
「わたし」という主語では、【記事の一部】で述べられているような、将来の人々という観点は出てきにくい。そのため、将来の人々のことを考えるには、「わたしたち」への主語の移行、言いかえれば、(Ⅱ)からの脱却が必要であると考えらる。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

吾が師常によみ出でらるる歌、いと遅吟にして、人の許にゆきて、そのむしろ^{注1}にのぞみてよまざる歌も、ある時はけづはよみ得ぬなりとて、今日はずいとうかたかならぬのだひめもす考へられたるままにて、空しく帰らるる事度々なりき。又詞^{注2}なども、筆とられてより、幾度か稿をかへて、なほ心に落ちぬほどは、そのまま厨子^{注3}の内に巻き入れおかれて、心のおもむけるをりとう出でては、消し補ひなどせられし事常なり。されはみづから許して、清書せらるるに及びては、誤れる事をさをさなかりしなり。荒木田久老神主は、その心掟おほいに異にして、早吟なるのみならず、序文など人に乞はれて^①物せらるるをりなども、筆をとりて紙に对^{注4}へば、詞腸^{注4}たちまに動くとして、案をも設けず、ただちに筆を下されしとぞ。秀才なる事ははめ問^{注5}こゆべき事なれど、さればこそその文詞、ともすれば考へた

問題は、次のページに続きます。

らぬ事のうち交じるをり有りき。又余りに筆の走るに任せられて、深く考へらるるまではなかりし事も有りしとぞ。^②今いづれをかよしといは

ん。

(「泊瀬筆話」による。)

- (注1) むしろ = 席。
(注2) ひめもす = 一日中。
(注3) 厨子 = 戸棚。
(注4) 詞腸 = 詩をつくる心。
(注5) 問 = 問ひ。

1 ① 乞はれて の平仮名の部分を、現代仮名遣いで書きなさい。

2 ② 今いづれをかよしといはん とあるが、これについて国語の時間に、生徒が班で話し合いをしました。次の【生徒の会話】はそのときのものです。これを読んで、空欄Ⅰ・空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、現代の言葉を用いて、それぞれ二十五字以内で書きなさい。また、空欄Ⅲ・空欄Ⅳに当てはまる適切な表現を、現代の言葉を用いて、それぞれ十五字以内で書きなさい。

【生徒の会話】

青木： 「吾が師」と「荒木田久老神主」の「歌」や「文詞」をつくるときの様子と、できあがった「文詞」の特徴について述べた上でこういっているのだよね。どちらがよいのだろう。

今井： 二人の「文詞」をつくるときの様子を比較してみると、「吾が師」は、（Ⅰ）のに対して、「荒木田久老神主」は、（Ⅱ）のだよね。このことについて、「荒木田久老神主」は、「秀才」と述べられているよ。

西田： うん。だけど、できあがった「文詞」を比較すると、「吾が師」のものは、（Ⅲ）のに対して、「荒木田久老神主」のものは、（Ⅳ）のだよね。

田中： それぞれ一長一短あるよね。どちらがよいと簡単にはいえないと思うよ。

社 会
(10:20~11:10)

×

注 意

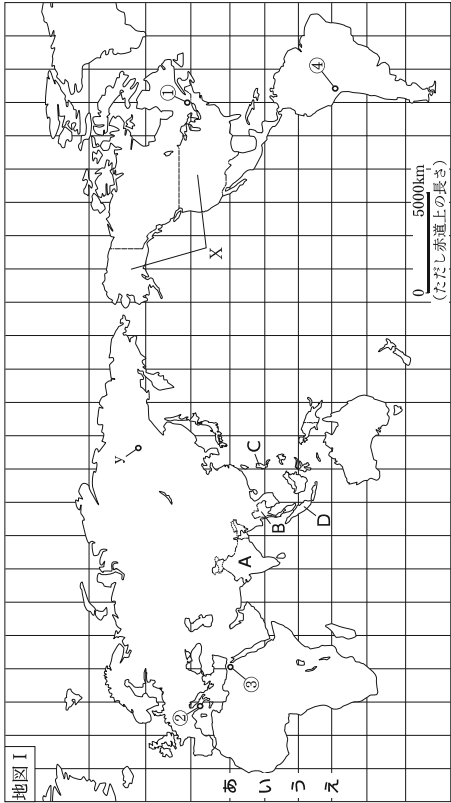
- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから12ページに、問題が1から4まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

×

受検番号

第 番

1 次の地図Ⅰを見て、あとの1～5に答えなさい。



- 1 地図Ⅰ中のあ～えの緯線の中で、赤道に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。
- 2 次の表Ⅰ中のア～エは、地図Ⅰ中の①～④のいずれかの都市の月平均気温・月降水量を示しています。ア～エの中で、②の都市の月平均気温・月降水量に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。

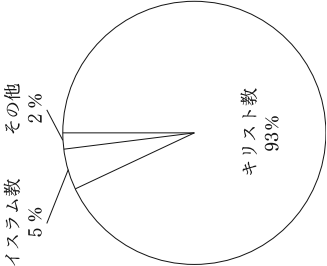
表Ⅰ

	上段：月平均気温（℃）、下段：月降水量（mm）											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ア	9.1	9.2	11.3	13.9	18.0	22.1	24.6	25.1	21.6	17.9	13.8	10.1
	73.9	74.8	59.4	42.8	39.6	13.2	8.8	19.9	65.1	74.2	96.5	75.4
イ	9.0	9.0	8.8	8.1	6.5	5.3	4.9	5.8	7.3	8.6	9.5	9.4
	124.9	119.6	82.0	30.3	14.0	9.9	7.5	11.0	29.6	48.2	44.5	108.3
ウ	-9.4	-8.1	-2.3	6.0	13.6	18.6	21.4	20.1	15.9	8.7	2.0	-5.4
	55.9	54.8	62.6	80.6	71.4	80.7	91.3	94.9	74.7	85.8	50.2	71.7
エ	13.9	15.2	17.9	21.8	25.3	27.9	29.2	29.0	27.5	24.6	20.0	15.7
	6.0	3.2	8.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.2	1.2	8.1

（気象庁ウェブページにより作成。）

3 次のグラフ I の宗教別人口の割合は、地図 I 中の A、B、C、D のうちのどの国のものですか。
A～Dの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

グラフ I



(データブック オブ・ザ・ワールド 2024年版により作成。)

4 次のア～エは、地図 I 中の X の国における2020年の、小麦の生産量、製造品出荷額、天然ガスの産出量、豚の飼育頭数それぞれについての上位5つの州を示した地図のいずれかに当たります。
ア～エの中で、製造品出荷額の上位5つの州を示したものはどれですか。その記号を書きなさい。



(データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版、2023年版、2024年版により作成。)

社—2

社—3

5 地図Ⅰ中のyの都市では、次の写真Ⅰのような高床式の建物が見られます。このように建物を高床にする工夫が行われているのはなぜですか。その理由を、「永久凍土」の語を用いて簡潔に書きなさい。

写真Ⅰ



2 次の略年表は、日本の文化に関することがらについてまとめたものです。あとの1～6に答えなさい。ただし、略年表中のあ～えは、それぞれ◀→の示す期間を表したものです。

世紀	日本の文化に関することがら
8	A 神話や伝承、記録などを基に「古事記」がつくられる。
9	
10	あ↕
11	B かな文字を用いた「源氏物語」が書かれる。
12	い↕
13	C 後鳥羽上皇の命令で「新古今和歌集」がまとめられる。
14	
15	う↕
16	
17	D 農業の知識や技術を記した「農業全書」が書かれる。
18	え↕
19	E 最初の日刊新聞である「横浜毎日新聞」が発行される。

1 次のア～エの中で、Aの頃につくられた書物として適切なものとはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 「枕草子」 イ 「平家物語」 ウ 「解体新書」 エ 「日本書紀」

2 次の文章は、Bの頃の政治について述べたものです。下のア～エの中で、文章中の[]に当てはまる内容として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

藤原氏は、[]し、権力を強めた。その中で地方の政治は、ほとんど国司に任せられるようになり、任期中に財産をたくわえる国司が増えた。

ア 将軍の力を弱め、執権の地位に就任 イ 摂政や関白に就き、一族で官職を独占
ウ 分国法を定め、武士や農民を統制 エ 守護大名をおさえ、南北朝を統一

3 次の文章は、Cの頃の将軍と御家人との間の主従関係について述べたものです。文章中の[]に当てはまる適切な語を書きなさい。

将軍が、御家人の領地を保護したり、新しい領地を与えたりすることを御恩という。これに対して、御家人が、京都や鎌倉を警備したり、戦いが起こったときに命をかけて戦ったりすることを[]という。

4 次のア～エの中で、Dの頃の農業について述べた文として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 同じ田畑で米と麦を作る二毛作が始まった。
イ 干鰯などの肥料の購入が盛んになった。
ウ 農地改革が行われ、自らが所有する土地で耕作する農民が増えた。
エ 稲作が始まり、稲をたくわえる高床倉庫がつくられ始めた。

5 次の資料Ⅰは、Eの頃に政府が出した新聞紙条例の一部とこの部分に関連するできごとについて述べたものです。また、下の文章は、政府が新聞紙条例を出したことについて述べたものです。文章中の a に当てはまる適切な語を書きなさい。また、文章中の b に当てはまる内容を、資料Ⅰから読み取れる新聞の特徴に触れて、簡潔に書きなさい。

資料Ⅰ

【新聞紙条例の一部】

第12条 新聞紙あるいは雑誌や他の報道において、人をそそのかして罪を犯させた者は、犯した者と同罪とする。

第13条 政府をたおし、国家をくつがえすような言論を載せ、騒乱をあおろうとする者は、禁獄1年から3年とする。

(注) 禁獄：囚人を^{おとこ}牢獄に監禁しておくこと

【関連するできごと】

民権議院設立建白書が政府に提出された際、この建白書は非公開を原則としていたが、この建白書は「日新真事誌」という新聞によって公表され、大きな反響を呼んだ。民権議院設立建白書は、新聞という公開の場に発表されたことによって民権議院論争を呼び起こし、それまで政府内部だけで検討されてきた議会制度の創設という問題についての知識と関心を世に広めた。

資料Ⅱ

国民が政治に参加する権利の確立を目指す運動の総称である a が始まるきっかけとなった民権議院設立建白書が提出された。その後、資料Ⅰ中の「関連するできごと」などが起こったため、政府は新聞紙条例を出すことにより、政府への批判が広まらないように、 b しようとした。

6 次の資料Ⅱは、ある人物が日本滞在中に書いた手紙の一部を示したものです。略年表中のあ～えの中で、この手紙が書かれた時期を含む期間として適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

資料Ⅱ

日本全国当界の町より安全な所なく、他の諸国において動乱あるも、この町にはかつて無く、敗者も勝者も、この町に來住すれば皆平和に生活し、諸人相和し、他人に害を加ふる者なし。

(注) 來住す：来て住む 相和す：互いに親しみ合う

3 あとの1・2に答えなさい。

1 日本の地方の政治に関して、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の資料Ⅰは、日本国憲法第92条を示したものです。資料Ⅰ中の に当てはまる適切な語を書きなさい。

資料Ⅰ

第92条 の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。

(2) 次のア～エの直接請求権の内容の中で、住民が有権者の50分の1以上の署名を集めることによって首長に請求できるものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 条例の制定 イ 監査 ウ 議会の解散 エ 議員の解職

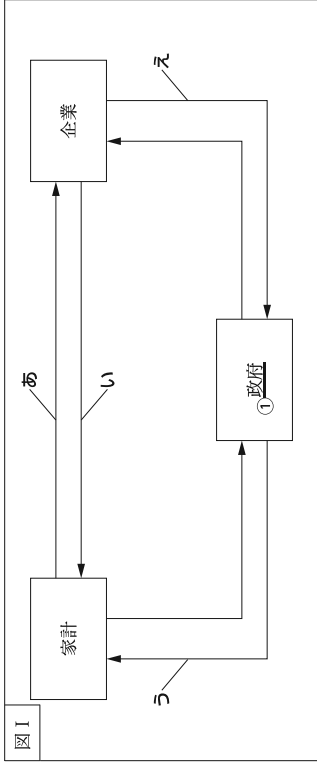
(3) 次の表Ⅰは、2022年度の大阪府、高知県、東京都の歳入の内訳を項目ごとに割合で示したものです。表Ⅰ中のあ～えには、国庫支出金、地方交付税交付金、地方債、地方税のいずれかが当てはまります。あ～えの中で、地方税に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。

表Ⅰ (%)

	あ	い	う	え	その他
大阪府	3.4	23.6	8.5	31.9	32.6
高知県	11.9	24.0	39.0	14.7	10.5
東京都	2.9	15.4	0.0	56.2	25.4

※小数第二位を四捨五入してあるため、合計が100.0%にならない場合がある。
(総務省ウェブページにより作成。)

2 次の図Ⅰは、経済活動における経済の三つの主体（家計、企業、政府）の関係の一部を示したものです。下の（１）・（２）に答えなさい。



（１）図Ⅰ中のあ～えの矢印（→）の中で、株式会社で働く人の労働力を表す矢印として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

（２）下線部①に関して、政府の機関である公正取引委員会は、価格の競争がなくなることにつながる行為をした企業を指導しています。次の資料Ⅱ中の〔Ａ店の行為〕は、価格の競争がなくなることにつながる行為として指導を受ける可能性があります。それはなぜだと考えられますか。その理由を、資料Ⅱを基に簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ

〔X町のガソリンスタンドに関する状況〕

- ・X町には、ガソリンスタンドがA店、B店、C店の３店舗ある。
- ・X町の住民は地理的な条件から、この３店舗のみを利用する。
- ・この３店舗のうち、A店の経営状況には余裕がある一方で、B店とC店の経営状況には余裕がない。
- ・この３店舗のガソリン販売価格は、いずれも１リットル当たり160円以上で推移している。

〔A店の行為〕

〔X町のガソリンスタンドに関する状況〕の中、A店は、ガソリン販売価格を仕入れ値を大きく下回る価格まで大幅に引き下げ、30日以上にわたって、１リットル当たり140円で販売した。

4 ある学級の社会科の授業で、「昭和と令和のそれぞれの社会の様子」というテーマで、班ごとに分かれて学習をしました。次の資料は、この授業のはじめに先生が配付したプリントの一部です。あとの１～３に答えなさい。

昭和と令和のそれぞれの社会の様子

昭和は1926年から始まっており、1926年を１年目とすると、2025年は100年目に当たる。

昭和と令和のそれぞれの社会の様子には、どのような違いがみられるだろうか。

〔金融〕

①昭和の初め頃の経済の状況を受けて、1927年には預金者が一斉に銀行に押し寄せる騒ぎが起こった。当時は主に銀行の窓口で取り引きが行われていたが、令和の社会ではインターネットを利用した取り引きも盛んになっている。

〔資源〕

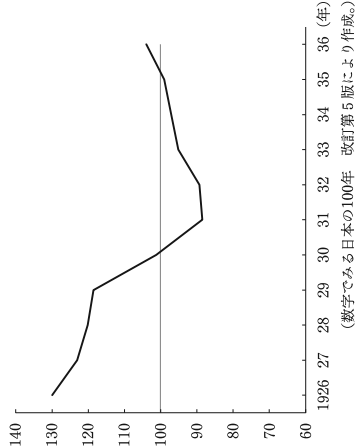
昭和の初め頃の社会では、産業の発展を支えるために、化石燃料である②石炭が主に使用された。令和の社会では、産業の発展と環境の保全を両立させるために、バイオ燃料も活用されている。

〔娯楽〕

昭和の初め頃の社会では、ラジオ放送が普及し、野球などのスポーツが大衆の娯楽として定着していった。令和の社会では、③スマートフォンが普及し、人々が楽しめる娯楽がより多様になっている。

1 下線部④に関して、池田さんは、昭和の初め頃の経済の状況について興味をもって調べ、次のグラフⅠを見付け、グラフⅠから読み取れることと当時の財政政策について調べて分かったことを関連付けて下のようになとまとめました。まとの中の a c に当てはまる適切な語を書きなさい。また、まとの中の b c に当てはまる内容はそれぞれ何ですか。あとのア～エの組み合わせの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

グラフⅠ 東京小売物価指数の推移
(1934～36年の平均を100としたときの指数)



池田さんのまとめ

グラフⅠを見ると、1929年から1931年にかけて物価指数が急激に下落していることが分かる。このことには、1929年に始まったアメリカの経済危機の影響が各国に広がって多くの国々で深刻な不況となった a が関連しており、この時期の日本では b が起こっていたと考えられる。

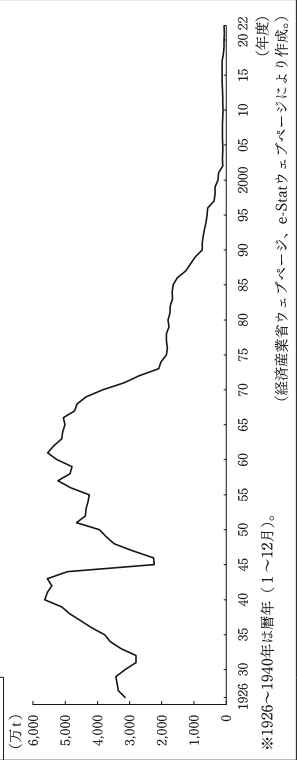
また、1931年から1936年にかけて物価指数がゆるやかに上昇していることが分かる。この理由として、当時の政府が、不況のときには公共事業や公共投資を c という景気の安定化を図るための財政政策を行っている可能性が考えられる。

- ア b インフレーション c インフレーション
- イ c 増やす c 減らす
- ウ b デフレーション c デフレーション
- エ b 増やす c 減らす

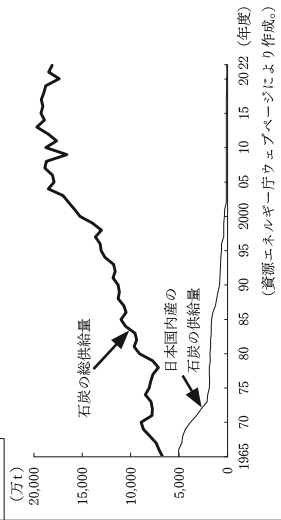
社一10

2 下線部②に関して、西川さんは、昭和と令和のいずれの社会においても石炭が燃料として使用されていることに興味をもって調べ、次のグラフⅡと下のグラフⅢを見付け、日本国内の石炭の生産量が変化した理由についてあとのようになとめました。あとの (1)・(2) に答えなさい。

グラフⅡ 日本国内の石炭の生産量の推移



グラフⅢ 日本国内における石炭の供給量の推移



西川さんのまとめ

グラフⅡを見ると、1930年代前半から1940年にかけて増加していた日本国内の石炭の生産量は、1944年度から1945年度にかけて急激に減少したことが分かる。このことには、1941年に始まった d の戦況の悪化や終戦が影響していると考えられる。

グラフⅢを見ると、1960年代後半以降の日本国内では、石炭の総供給量が増加していたにも関わらず日本国内産の石炭の供給量が減少していったことが分かる。このことは、安価な e ようになったことが原因の一つだと考えられる。グラフⅡを見ると、1960年代後半以降の日本国内の石炭の生産量も減少しており、これについても、安価な e ようになったことが影響していると考えられる。

(1) 次のア～エの中で、まとの中の d に当てはまる語として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 第一次世界大戦 イ 太平洋戦争 ウ 日清戦争 エ 日露戦争

(2) まとの中の e には、どのような内容が当てはまりますか。簡潔に書きなさい。
なお、文章中の2か所の e には同じ内容が入ります。

社一11

3 下線部③に関して、中野さんは、スマートフォンが普及したことによる社会の変化に興味をもって調べ、「デジタル・ディバイド」が広がっていることを知り、このことについて調べました。次のノートは、中野さんが調べたことをまとめたものであり、下の会話は、班員が、このノートを基に話し合いをしたときのものです。会話中の ・ には、どのような内容が当てはまりますか。それぞれ簡潔に書きなさい。なお、会話中の2か所の には同じ内容が入ります。

ノート

[デジタル・ディバイドとは]

- インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

[各世代のデジタル機器の利用状況]

- 各世代のデジタル機器の利用状況は、グラフⅣのようになっている。

グラフⅣ

世論調査への世代別の回答割合
(質問：「あなたは、スマートフォンやタブレットを利用していますか。」)

世代	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用していない	利用していない	無回答
18～29歳	95%	5%	0%	0%	0%
30～39歳	85%	15%	0%	0%	0%
40～49歳	75%	25%	0%	0%	0%
50～59歳	65%	35%	0%	0%	0%
60～69歳	55%	45%	0%	0%	0%
70歳以上	45%	55%	0%	0%	0%

(情報通信機器の利活用に関する世論調査 (2023年7月調査) により作成。)

西川：デジタル・ディバイドへの対策をしたら、どのようなことができるかな。

池田：デジタル機器の利用状況については、グラフⅣを見ると、 ほどデジタル機器を利用していないことが分かるよね。デジタル機器を使える人と使えない人があるのとして、操作方法が分からないからというものもあるだろうね。

木下：「機会の公正」の考え方を基に考えると、デジタル機器を使える人と使えない人がいると、情報に アクセスできる状況が保障されないかな。

西川：これからも社会のデジタル化は進みそうだね。そうすると、その状況が保障されることがもつと難しくなるかもしれないね。

池田：それでは、デジタル機器を使えない人にはどのような支援が行われるとよいのかな。

中山：調べてみると、X市の取り組みとして、X市が民間企業と連携して、市民を対象としたスマートフォン教室を開いていることが分かったよ。

木下：「機会の公正」の考え方を基に考えると、X市の取り組みなどによってデジタル機器を使える人が増えれば、情報に アクセスできる状況が保障されることにつながるね。

数 学
(11:30~12:20)

注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから10ページに、問題が1から6まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

- 1 次の(1)～(8)に答えなさい。
- (1) $3 + (-8) - (-4)$ を計算しなさい。

(2) $2ab^2 \times 5a \div b$ を計算しなさい。

(3) $\frac{12}{\sqrt{6}} + 3\sqrt{2} \times \sqrt{3}$ を計算しなさい。

(4) 方程式 $x^2 + 16x = 0$ を解きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

(5) y は x に比例し, $x = -4$ のとき $y = 8$ です。 $y = -6$ のときの x の値を求めなさい。

(6) a を負の数とします。 y は x の関数です。このとき、関数 $y = \frac{a}{x}$ について、正しいものを、次のア～エの中から全て選び、その記号を書きなさい。

- ア x の変域が $x > 0$ のとき, x の値が増加すると, y の値は増加する。
- イ x の変域が $x > 0$ のとき, x の値が増加すると, y の値は減少する。
- ウ x の変域が $x < 0$ のとき, x の値が増加すると, y の値は増加する。
- エ x の変域が $x < 0$ のとき, x の値が増加すると, y の値は減少する。

(7) 右の図のように, $AB = 6\text{ cm}$, $AD = 3\text{ cm}$
 の長方形 $ABCD$ があります。長方形 $ABCD$ を、
 辺 DC を軸として1回転させてできる立体の体積は
 何 cm^3 ですか。ただし、円周率は π とします。

A



D

B

C

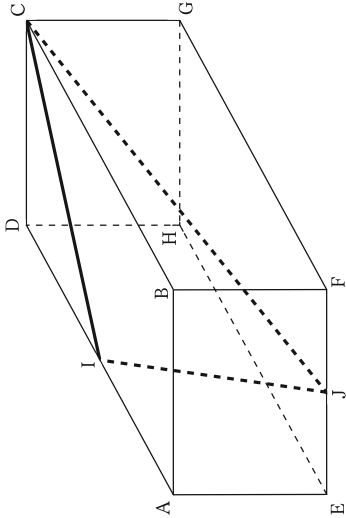
(8) 次のデータは、山下さんが釣り堀で釣った11匹の魚の重さを軽い方から順に並べたものです。
 このデータの四分位範囲は何 g ですか。

(単位：g)										
103	108	112	121	123	125	128	134	139	147	150

2 次の (1) ～ (3) に答えなさい。

(1) n を整数とします。 $\frac{45^2 - n^2}{7}$ が自然数となるような n のうち、最も大きい n の値を求めなさい。

(2) 次の図のように、点 A, B, C, D, E, F, G, H を頂点とする直方体があり、
 $AB = 4\text{ cm}$, $AD = 6\text{ cm}$, $AE = 3\text{ cm}$ です。辺 AD の中点を I 、辺 EF の中点を J とし、点 C と点 I 、点 I と点 J 、点 J と点 C をそれぞれ結びます。このとき、 $\triangle CIJ$ の周の長さは何 cm ですか。



(3) 上野さんと大西さんは、ある学校の陸上部に所属しています。次の表1は、夏休みの期間に計測した、上野さんの800 m走の記録と大西さんの800 m走の25回分の記録を度数分布表に表したものです。

表 1

階級 (秒)	度数 (回)	
	上野さん	大西さん
以上		
127 ～ 128	2	1
128 ～ 129	3	4
129 ～ 130	6	8
130 ～ 131	3	6
131 ～ 132	2	4
132 ～ 133	4	2
計	20	25

夏休み後に行われる陸上競技大会の種目には、800 m走があり、出場する選手として、上野さんか大西さんのどちらか1人を選ぶことになりました。他の部員が、過去のその大会における800 m走の決勝の記録をいくつか調べてみると、記録は全て、130 秒未満でした。そこで、次の【選考方法】で、出場する選手を選ぶことにしました。

【選考方法】

夏休みの期間に計測した800 m走の記録において、130 秒未満の累積相対度数の大きい方の選手を、夏休み後に行われる陸上競技大会の800 m走に出場する選手とする。

【選考方法】に基づくと、次の理由で出場する選手が選ばれます。

表 1 から、130 秒未満の累積相対度数は、上野さんが ，大西さんが であることを読み取ることができ、 の累積相対度数の方が大きいので、 が夏休み後に行われる陸上競技大会の800 m走に出場する選手として選ばれる。

文中の ・ に当てはまる累積相対度数をそれぞれ求めなさい。ただし、累積相対度数は小数で表しなさい。また、 に当てはまるものを、次の ①・② の中から選び、その番号を書きなさい。なお、2 か所の には同じものが入ります。

- ① 上野さん ② 大西さん

3 ある会社では、年1回、家族向けのイベントを開催しています。そのイベントではこれまで、当日券の販売は行っていませんでしたが、来場者アンケートに、「前売り券だけではなく、当日券も販売してほしい。」という要望が多数あったことから、今年のイベントでは当日券も販売しました。

次の表1は、今年のイベントにおける、大人と子どもそれぞれ1人当たりの入場券（前売り券、当日券）の金額を表したものです。

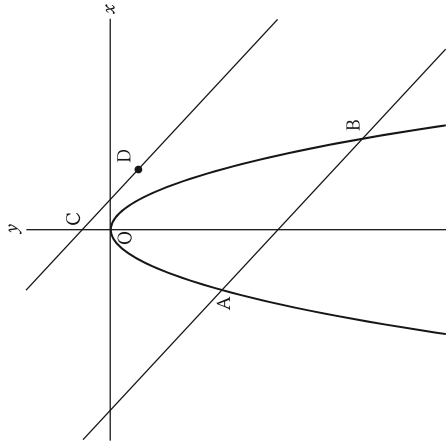
表1

入場券	大人	子ども
前売り券	1000 円	500 円
当日券	1300 円	700 円

今年のイベントでは、購入された大人の入場券のうち、前売り券の割合は 70 % であり、購入された子どもの入場券のうち、前売り券の割合は 60 % であり、大人の入場券と子どもの入場券の売り上げの合計は 554100 円 でした。仮に、今年のイベントで購入された、大人の入場券と子どもの入場券が全て前売り券であった場合、入場券の売り上げの合計は 500000 円 となります。

今年のイベントで購入された、大人の入場券の枚数と子どもの入場券の枚数をそれぞれ求めなさい。ただし、入場券の枚数は、前売り券の枚数と当日券の枚数を合計した枚数です。なお、答えを求める過程も分かるように書きなさい。

- 4** 次の図のように、関数 $y = -x^2$ のグラフ上に x 座標が -2 である点 A と x 座標が 3 である点 B があり、 y 軸上に点 C $(0, 1)$ があります。また、点 C を通り直線 AB に平行な直線上を $x > 0$ の範囲で動く点 D があります。



次の(1)・(2)に答えなさい。

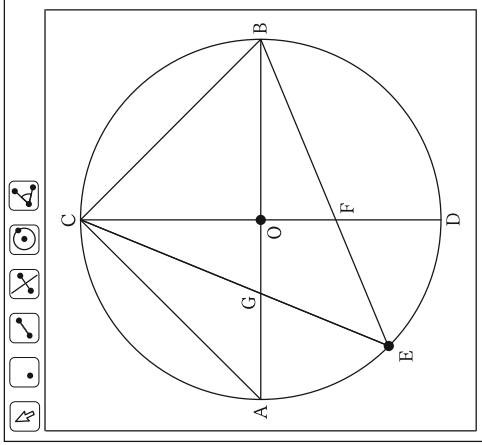
- (1) 関数 $y = -x^2$ のグラフ上の点で、 y 座標が、点 A の y 座標と等しい点を E とします。点 E の座標を求めなさい。ただし、点 E は点 A と異なる点です。
- (2) 四角形 CABD の面積が 25 となるとき、点 D の x 座標を求めなさい。

- 5** 数学の授業で、中川さんはコンピュータを用いて、次の【手順】で図1のような図形をかき、その図形を考察することになりました。

【手順】

- [1] 線分ABをかき、ABの中点をOとする。
- [2] 点Oを中心として、OAを半径とする円Oをかく。
- [3] 線分ABの垂直二等分線を引き、円Oとの交点をそれぞれC、Dとする。
- [4] $\widehat{AD}$ 上に $\widehat{AE} = \widehat{ED}$ となる点Eをとる。
- [5] 点Bと点Eを結んだ線分BEと線分ODとの交点をFとする。
- [6] 点Cと点Eを結んだ線分CEと線分OAとの交点をGとする。

1
☒



次の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 中川さんは、図1から、△OFBと△OGCが合同であると予想しました。そして、次のように△OFBと△OGCが合同であることを証明しました。

【証明】

 $\triangle OFB$ と $\triangle OGC$ において

- OBとOCは、円Oの半径であるから、OB = OC ……………①
 対頂角は等しいから、 $\angle BOF = \angle$ 7 ……………②
 $\widehat{AE} = \widehat{ED}$ であるから、 $\angle OBF = \angle$ 1 ……………③
- ①、②、③より、5 がそれぞれ等しいから
 $\triangle OFB \equiv \triangle OGC$

【証明】の ア・イ には、当てはまる文字をそれぞれ書き、
ウ には、当てはまる言葉を書き、証明を完成させなさい。

数—6

数—7

次に、中川さんはコンピュータを用いて、次の図2のように、図1にある、5点A、B、O、C、Dを固定して、点Eを、点Aと点Dを除く $\widehat{AD}$ 上で動かしたとき、何か成り立つことがあるののではないかと考え、調べることになりました。そこで、コンピュータで角の大きさを表示できる機能を用いて、点Eのいくつかの位置における、 $\angle OFB$ の大きさと $\angle OGC$ の大きさをそれぞれ調べ、下の表1にまとめました。

図2

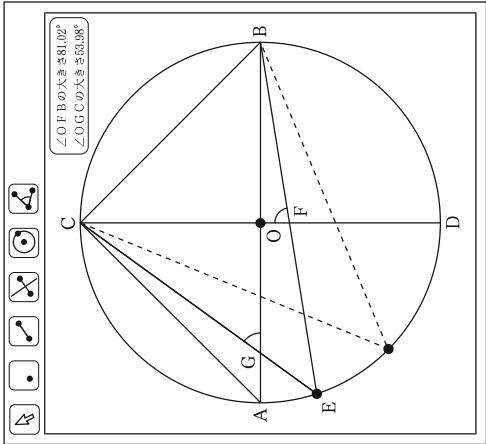


表1

$\angle OFB$ の大きさ	81.02°	72.87°	65.95°	58.64°	50.29°
$\angle OGC$ の大きさ	53.98°	62.13°	69.05°	76.36°	84.71°

(2) 中川さんは、表1から、次のことを予想しました。

【予想】

点Eが、点Aと点Dを除く $\widehat{AD}$ 上のどの位置にあっても、 $\angle OFB$ の大きさと $\angle OGC$ の大きさの和は 135° である。

【予想】が成り立つことを、 $\angle OFB$ の大きさを $\angle a$ 、 $\angle OGC$ の大きさを $\angle b$ として、 $\angle a$ 、 $\angle b$ を使った式を用いて説明しなさい。なお、 $\widehat{AD}$ は、点Bをふくまない方の弧を指します。

⑥ 右の図1のように、1、2、3、4、5の数が1つずつ書かれた玉が5個入った袋があります。また、片面が白色、もう片面が黒色の5枚のカードがあり、机の上に、図2のように、白色の面が上になって横一列に並んでいます。袋の中から取り出した玉に書かれている数を利用し、カードを裏返す、【操作P】及び【操作Q】について、それぞれ考えます。

図1

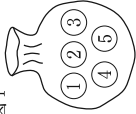


図2



【操作P】

- [1] 図1の袋の中の5個の玉をよく混ぜてから袋の中から1個ずつ順に2個の玉を取り出します。ただし、一度取り出した玉は袋の中に戻さないものとします。
- [2] 取り出した2個の玉にそれぞれ書かれている数の、大きい方の数を x とし、図2の状態にあるカードを、左端から x 枚裏返します。

例えば、取り出した2個の玉にそれぞれ書かれている数の、大きい方の数が3であったとき、次のように、左端から3枚のカードを裏返します。



【操作Q】

- [1] 図1の袋の中の5個の玉をよく混ぜてから袋の中から玉を1個取り出します。そして、取り出した玉を袋の中に戻して、袋の中の5個の玉をよく混ぜてから袋の中から玉を1個取り出します。
- [2] 1回目に取り出した玉に書かれている数を a 、2回目に取り出した玉に書かれている数を b とし、図2の状態にあるカードを、最初に左端から a 枚裏返し、次に右端から b 枚裏返します。

例えば、1回目に取り出した玉に書かれている数が3、2回目に取り出した玉に書かれている数が4であったとき、次のように、最初に左端から3枚のカードを裏返し、次に右端から4枚のカードを裏返します。



次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 【操作P】を1回だけ行うとき、5枚のカードにおいて、白色の面が上であるカードが1枚、黒色の面が上であるカードが4枚となる確率を求めなさい。

(2) 【操作Q】を1回だけ行うとき、5枚のカードにおいて、白色の面が上であるカードが1枚、黒色の面が上であるカードが4枚となる確率を求めなさい。



×

×



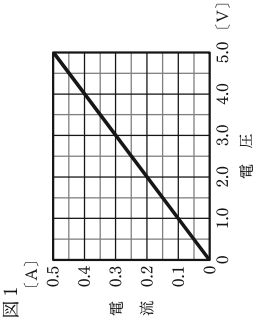
理 科
(13:10~14:00)

注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の 1 ページから 14 ページに、問題が 1 から 5 まであります。
これとは別に解答用紙が 1 枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

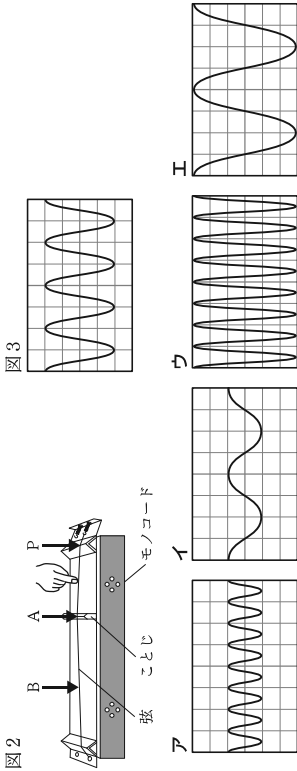
1 あとの 1 ～ 8 に答えなさい。

1 次の図 1 は、抵抗器 X について、抵抗器に加わる電圧と流れる電流との関係を示したものです。この抵抗器に、4.0 V の電圧を加えたときの電力は何 W ですか。



×

2 モノコードの弦をはじいて出た音を、マイクrohホンを使ってオシロスコープで観察する実験を行いました。次の図 2 のように、A P 間の弦の中央をはじいて音を出したとき、図 3 のような波形がオシロスコープに表示されました。弦の張りの強さを変えず、ことじの位置を B にずらし、B P 間の弦の中央より強くはじいたときの音の波形として最も適切なものを、下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。なお、図 3 の縦軸は振幅を、横軸は時間を表しており、ア～エの縦軸及び横軸の目盛りのとり方は、図 3 と同じものとして扱います。



3 アンモニアのように、原子がいくつか結びついてできており、物質の性質のもとになる最小の粒子を何といいますか。その名称を書きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

4 次の文章は、燃料電池について述べたものです。文章中の□に当てはまる適切な語を書きなさい。

水の電気分解とは逆の化学変化を利用する電池を燃料電池という。燃料電池の反応では、物質として□だけが生じて、有害な排出ガスが出ないため、環境に対する悪影響が少なくないと考えられている。

5 次のア～エの中で、外骨格をもち、体やあしに節がある動物の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア イカ、ミミズ、カニ
イ バッタ、カニ、クモ
ウ ミミズ、バッタ、イモリ
エ クモ、イモリ、イカ

6 次のア～カは、ある植物の細胞分裂の各時期の細胞を、それぞれ模式的に示したものです。ア～カを細胞分裂の順に並べるとどうなりますか。アをはじめとして左から順に並べ、その記号を書きなさい。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ

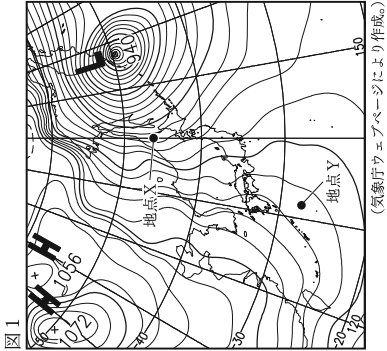
7 地球を含む太陽系が属している、約2000億個の恒星からなる大きな集団を何といいますか。その名称を書きなさい。

8 緊急地震速報は、地震が発生したときに、震源に近い地震計でP波を感知し、各地のS波の到達時刻や震度を予測して、強い揺れがくることを事前に知らせる予報・警報です。ある地震が発生してから8秒後に、震源から100 km離れた地点Yに緊急地震速報が出されたとする、地点YにS波が到達するのは、緊急地震速報が出されてから何秒後だと考えられますか。次のア～エの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。ただし、S波の速さは 4 km/s とします。

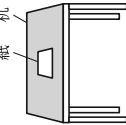
- ア 9秒後 イ 17秒後 ウ 25秒後 エ 33秒後

2 気象とその変化に関して、あとの1～3に答えなさい。

1 次の図1は、ある日の天気図を示したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。なお、天気図中の**H**は高気圧を、**L**は低気圧を示しています。



2 右の図2は、机とその机の上に置かれた面積が200 cm²の紙を模式的に示



したものです。気圧の大きさを1000 hPaとするとき、図2中の紙200 cm²の上にある空気の質量は何kgだと考えられますか。次のア～エの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。ただし、100 gの物体にはたらく重力の大きさを1 Nとします。

ア 2 kg イ 20 kg ウ 200 kg エ 2000 kg

3 次の文章は、夏から秋にかけて日本列島に接近する台風の進路について述べたものです。文章中の□c・□dに当てはまる語はそれぞれ何ですか。下のア～エの組み合わせの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。なお、文章中の□cには同じ語が入ります。

台風は、□cの西側の縁を回るように進み、日本に接近すると□dの影響を受けて東向きに進路を変えることが多い。夏に発達していた□cがしりぞくとともに、台風の進路も南下する。

ア □c : オホーツク海高気圧 イ □c : オホーツク海高気圧
□d : 季節風 □d : 偏西風

ウ □c : 太平洋高気圧 エ □c : 太平洋高気圧
□d : 季節風 □d : 偏西風

3 動物の体のつくりと働きに関して、次に示したものは、上田さんと小野さんが学校の廊下を歩いている際に行った会話の一部です。あとの1～4に答えなさい。

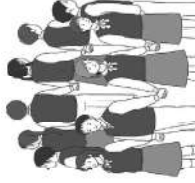
上田：この前の理科の実験は楽しかったね。

小野：そうだね。10人が手をつないで背中合わせに輪になって、右手を握られたら、左手で隣の人の右手を握ることを次々にやっていって、一周にかかる時間をはかったね。その時間から、①右手を握られてから左手で隣の人の右手を握るまでの、1人当たりの時間を求めたね。

上田：痛っ。

小野：どうしたの。大丈夫？

上田：大丈夫。②教室のドアを触ろうとしたら、静電気が起こって、思わず手を引っこめたよ。これも反応の一つだよ。



1 手の皮膚のように、外界からの刺激を受け取る器官を何といいますか。その名称を書きなさい。

2 下線部①について、この反応において、信号が伝わる経路として最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 右手の皮膚→感覚神経→脊髄→脳→運動神経→左手の筋肉

イ 右手の皮膚→運動神経→脊髄→脳→脊髄→感覚神経→左手の筋肉

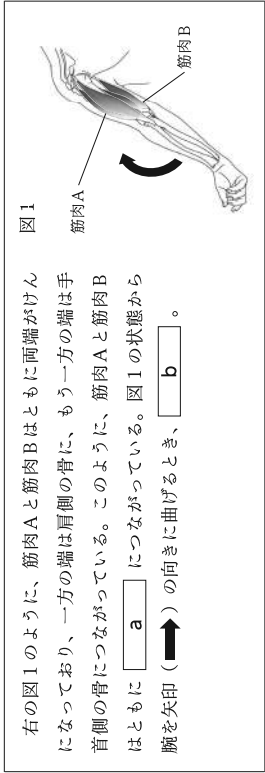
ウ 右手の皮膚→感覚神経→脊髄→運動神経→左手の筋肉

エ 右手の皮膚→運動神経→脊髄→感覚神経→左手の筋肉

3 下線部②について、この反応のように、刺激に対して無意識に起こる反応のことを何といいま

すか。その名称を書きなさい。

4 次の文章は、ヒトの腕の筋肉とその動きについて述べてたものです。文章中の a に当てはまる内容は「関節」の語を用いて簡潔に書きなさい。また、b に当てはまる内容として適切なものを、下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。



- ア 筋肉Aも筋肉Bも縮む イ 筋肉Aが縮み、筋肉Bがゆるむ
ウ 筋肉Aがゆるみ、筋肉Bが縮む エ 筋肉Aも筋肉Bもゆるむ

4 身の回りの物質に関して、あとの1～3に答えなさい。

- 1 次に示したものは、ロウが状態変化するときの体積と質量の変化を調べる実験の方法と結果です。〔結果〕を踏まえ、ロウの粒子の数とロウの粒子どうしの間隔はそれぞれどのように変化したと考えられますか。下の【粒子の数】・【粒子どうしの間隔】のア～ウの中から適切なものをそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

〔方法〕

I 右の図1のように、ビーカーに液体のロウを入れ、液面の位置に印をつける。

II 図1の容器全体の質量を測定する。

III 容器を冷やして液体のロウを固体のロウにする。

IV ロウが全て固体となった時点で、容器全体の質量を測定するとともに、その様子を観察する。

〔結果〕

ロウが液体から固体になったとき、右の図2のように、ロウの中央がくぼんだことから、ロウの体積が小さくなったことが分かる。ロウが液体のときと固体のときの容器全体の質量はそれぞれ、次の表1のようになり、ロウの質量は変わらなかった。

図1

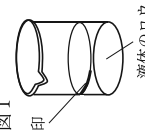


図2

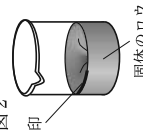


表1

ロウが液体のときの容器全体の質量〔g〕	45.0
ロウが固体のときの容器全体の質量〔g〕	45.0

【粒子の数】

ア 増加した イ 減少した ウ 変化しなかった

【粒子どうしの間隔】

ア 広くなった イ 狭くなった ウ 変化しなかった

2 次にしたものは、水やエタノールなどを含むみりんから、エタノールを取り出す実験の方法と結果です。下の（１）・（２）に答えなさい。

【方法】

I 右の図3の装置を用いてみりん25 cm³を加熱し、出てきた液体を約2 cm³ずつ、試験管P～試験管Rに順に集める。それぞれ何℃から何℃の間に集めたのかを記録しておく。

II 試験管P～試験管Rに集めた液体をそれぞれ別のろ紙に浸し、次の図4のように、各ろ紙を蒸発皿に置いて火を近付けたときの様子を調べる。

図3

図4

【結果】

試験管	P	Q	R
温度	77℃～82℃	82℃～88℃	88℃～92℃
ろ紙に火を近付けたときの様子	火がついてしばらく燃えた。	火はついたがすぐに消えた。	火がつかなかった。

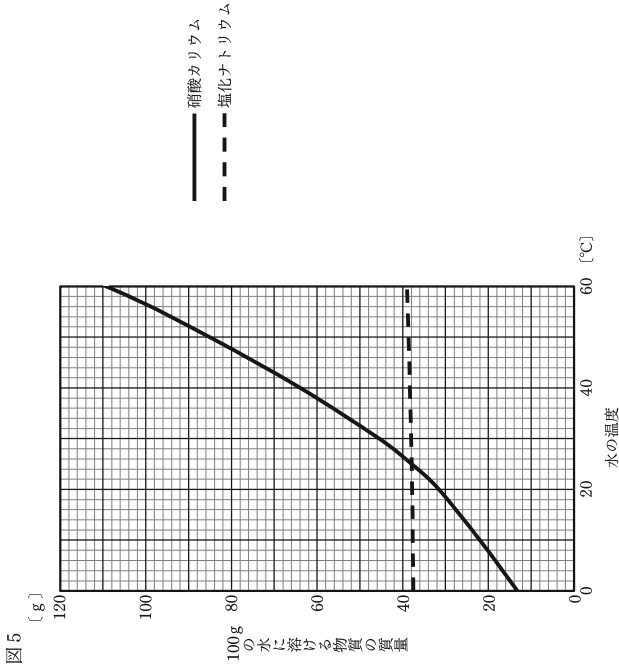
（１）試験管P～試験管Rに集めた液体のうち、エタノールの割合が最も大きい液体はどれと考えられますか。次のア～ウの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

ア 試験管Pに集めた液体 イ 試験管Qに集めた液体 ウ 試験管Rに集めた液体

（２）次の文は、この実験について述べたものです。文中の□に当てはまる内容を書きなさい。

この実験は、目的の物質であるエタノールを取り出すために、混合物であるみりんに含まれる物質の□を利用したものである。

3 次の図5は、硝酸カリウムと塩化ナトリウムのそれぞれの溶解度曲線を示したものです。図5を基に考えると、30℃の水200 gに硝酸カリウムと塩化ナトリウムがそれぞれ60 gずつ溶けた水溶液を10℃まで冷却したとき、結晶として出てくる物質は硝酸カリウム・塩化ナトリウムのうちどちらだと考えられますか。その名称を書きなさい。また、結晶として出てくる質量は約何 gだと考えられますか。下のア～エの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。ただし、水の蒸発は考えないものとし、2種類の物質を同じ水に溶かしても、それぞれの物質の溶ける質量は変化しないものとしています。



ア 約8 g イ 約16 g ウ 約22 g エ 約38 g

5 力の働きと運動の規則性に関して、あとの1・2に答えなさい。

- 1 新井さんは、斜面上を下る物体の速さがどのように変化するかを調べるため、小球を用いて実験を行い、レポートにまとめました。次に示したものは、新井さんのレポートの一部です。あとの(1)・(2)に答えなさい。

〔方法〕

I 次の実験1～実験4を行う。

実験1 下の図1に示す装置を用いて、質量5gの小球を水平面からの高さが10cmと
なるように斜面上に置き、静かに手をはなして運動させ、その様子を動画に撮
る。

実験2 図1に示す装置を用いて、小球を質量5gのものから質量10gのものにかえ
て、実験1と同じ操作を行う。

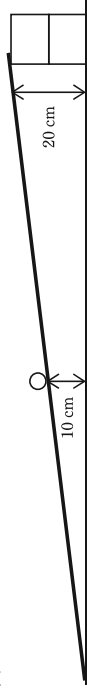
実験3 図1に示す装置の木片を2つにして斜面の傾きを大きくした、あとの図2に
示す装置を用いて、実験2と同じ質量10gの小球を水平面からの高さが10cmと
なるように斜面上に置き、静かに手をはなして運動させ、その様子を動画に撮る。

実験4 図2に示す装置を用いて、実験2と同じ質量10gの小球を水平面からの高さ
が20cmとなるように斜面上に置き、静かに手をはなして運動させ、その様子を
動画に撮る。

図1



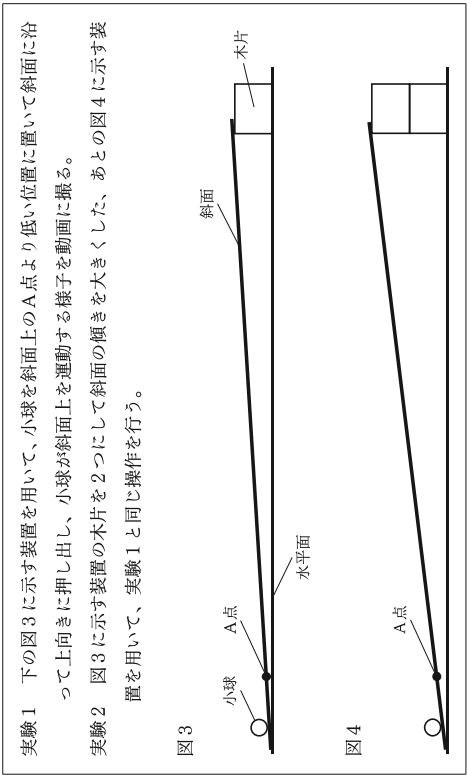
図2



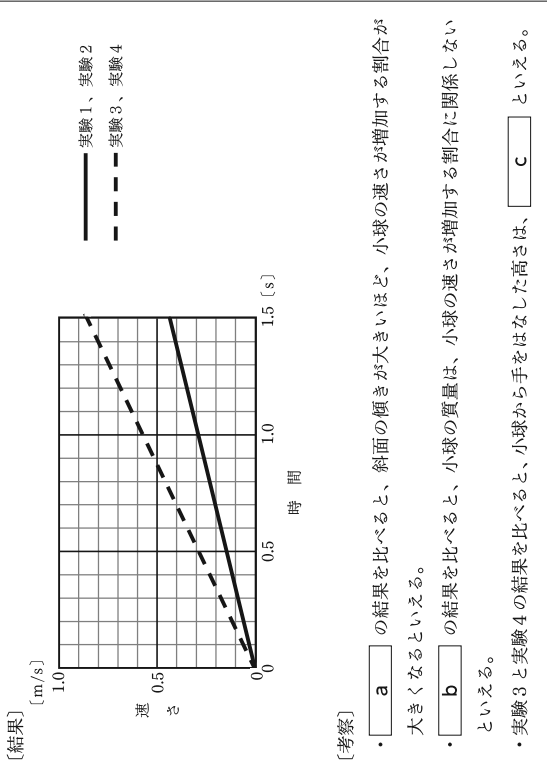
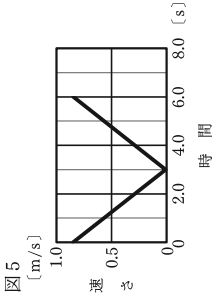
II 撮影した動画を基に、実験1～実験4それぞれについて、手をはなした点を基準点と
して、0.1秒間隔ごとの小球の平均の速さを求め、時間と速さとの関係をグラフに表す。

問題は、次のページに続きます。

2 新井さんは、斜面上を上げる物体の速さがどのように変化するかを調べるため、小球を用いて次の実験 1・実験 2 を行いました。



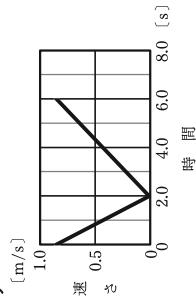
次の図 5 のグラフは、実験 1 で撮影した動画を基に、小球が A 点を通過し、再び A 点に戻るまでの、0.1 秒間隔ごとの小球の平均の速さを求め、時間と速さとの関係を表したものです。



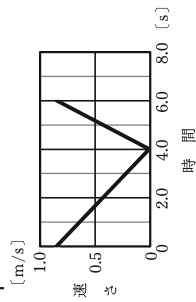
- (1) [考察] 中の ・ に当てはまる内容として最も適切なものを、次のア～オの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。
- ア 実験 1 と実験 2 イ 実験 1 と実験 3 ウ 実験 1 と実験 4
- エ 実験 2 と実験 3 オ 実験 2 と実験 4
- (2) [考察] 中の に当てはまる内容を簡潔に書きなさい。

実験 2 において、小球の A 点での速さが実験 1 と同じである場合、小球が A 点を通過し、再び A 点に戻るまでの、時間と速さとの関係を表したグラフはどのようになりますか。次の **ア**～**エ** の中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

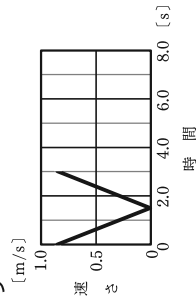
ア



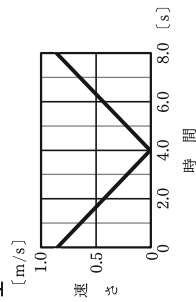
イ



ウ



エ



×

×



英語
(14:20~15:10)

注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 最初に、放送による聞き取りテストを行います。検査開始のチャイムが鳴ったらすぐに 英一1 ページを開きなさい。
- 3 受検番号は、放送による聞き取りテストの終了後に、問題用紙と解答用紙の両方に記入しなさい。
- 4 問題用紙の 1 ページから 11 ページに、問題が 1 から 4 まであります。これとは別に解答用紙が 1 枚あります。
- 5 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 放送を聞いて答えなさい。

問題A これから、No.1～No.3まで、対話を3つ放送します。それぞれの対話を聞き、そのあとに続く質問の答えとして最も適切なものを、下のア～エの中から選んで、その記号を書きなさい。

No.1	ア They went hiking. イ They visited a park. ウ They rode a boat. エ They went fishing.
No.2	ア For seven hours. イ For eight hours. ウ For nine hours. エ For ten hours.
No.3	ア イ ウ エ

問題 B これから放送する対話は、高校生の太郎と留学生のメグが、ある話題に関して話したときのものです。下の【対話】に示されているように、まず①で太郎が話し、次に②でメグが話し、そのあと交互に話します。⑤では太郎が話す代わりにチャイムが1回鳴ります。あなたが太郎なら、この話題に関しての対話を続けるために、⑤でメグにどのような質問をしますか。⑤に入る質問を4語以上の英文で書きなさい。

【対話】

Taro :	①
Meg :	②
Taro :	③
Meg :	④
Taro :	⑤ チャイム

問題 C これから放送する英文は、留学生のジョンが高校生の健一に対して話したときのもので、ジョンの質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたの考えをその理由とともに英文で書きなさい。なお、2文以上になっても構いません。

② 次の会話は、高校生の広子、健太と、イギリスからの留学生のエミリーが、ある話題について休み時間に話したときのものです。また、グラフ1は、そのとき広子たちが見ていたウェブページの一部です。これらに関して、あとの1～5に答えなさい。

Emily : I heard the word *shokuiku* on the news. What does it mean?

Hiroko : It means food and nutrition education. The importance of a healthy diet A at school and in other places. Last week, in home economics class, I learned that it's important to eat well-balanced meals.

Kenta : When I was an elementary school student, my friends and I visited a local farm. We learned about growing vegetables, and picked several kinds of vegetables. We ate the vegetables and they were so good. I think that was part of *shokuiku*.

Emily : I see. I didn't know the word *shokuiku*, but we have similar programs in my country, too.

Kenta : Oh, really? What kind of programs does your country have?

Emily : Like Hiroko, we learn the importance of a healthy diet in class. Also, there are programs to encourage young people to eat more vegetables. B, in one of the programs, TV broadcasters show advertisements that ask children to "defeat" vegetables by eating them. That program is for small children, but there are other programs to encourage teenagers like us to eat more vegetables. Do teenagers in Japan eat a lot of vegetables?

Hiroko : I'm not sure, but there may be some information on the Internet. Oh, I found a website about *shokuiku*. There's a graph that shows the average daily vegetable intake in Japan by age group. According to the graph, people who are 15 to 19 years old eat about 250 grams.

Kenta : On the website, we can see that the daily vegetable intake target of adults is 350 grams in Japan, but the graph shows that there are C groups that eat more than 350 grams.

Emily : People should eat more vegetables. What can be done?

Hiroko : According to the website, many people don't know how much 350 grams is. They think they eat more than 350 grams, but they actually don't.

Kenta : I see. ①

Hiroko : According to the website, eating five plates of vegetables is recommended.

There's a picture of five plates of vegetables on the website. About 70

grams of vegetables are on each plate. If we eat five plates of vegetables a day, we can achieve the target.

Kenra : “Five plates of vegetables a day.” That’s easy to remember.

Emily : I often eat salad, but I think eating five plates of salad is difficult for me.

Hiroko : There are many dishes that use vegetables. We can eat salad and different dishes of cooked vegetables.

Kenra : Does that mean that we can also eat boiled and fried vegetables?

Hiroko : Yes, when vegetables are boiled or fried, they will be smaller and easier to eat.

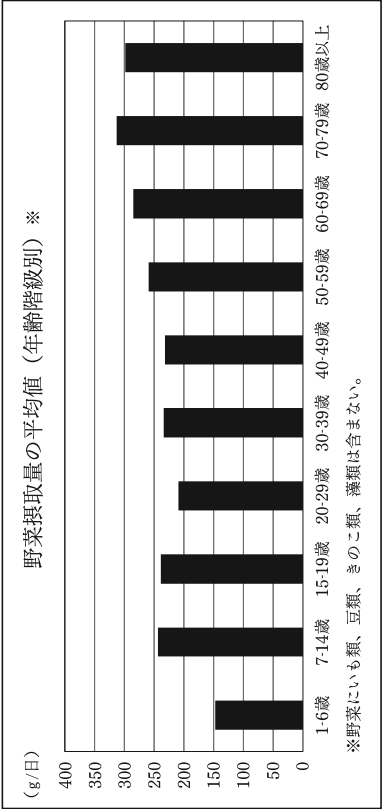
Emily : I want to learn recipes to cook vegetables.

Hiroko : I saw a poster about cooking lessons at a farm in our town. I think we can learn good ways to cook vegetables.

Emily : Sounds interesting! Let’s join one of the lessons together!

(注) nutrition 栄養 importance 重要性 healthy 健康的な diet 食生活
well-balanced バランスのとれた farm 農園 grow 育てる
pick 収穫する program プログラム
encourage ～ to … ～に…するよう促す broadcaster 放送局
advertisement 広告 defeat やっつける teenager ティーンエイジャー
average 平均の intake 摂取量 by age group 年齢階級別に
according to ～ によると gram グラム target 目標 adult 成人
plate 皿 achieve 達成する recipe レシピ

グラフ 1



（厚生労働省「令和4年 国民健康・栄養調査結果の概要」により作成。）

- 1 本文中の **A** に当てはまる最も適切な英語を、次の **A**～**E**の中から選び、その記号を書きなさい。
- A** teaches **イ** taught **ウ** is taught **エ** is teaching
- 2 本文中の **B** に当てはまる最も適切な英語を、次の **A**～**E**の中から選び、その記号を書きなさい。
- A** By the way **イ** For example **ウ** Instead **エ** Of course
- 3 本文中の **C** に当てはまる最も適切な英語を、次の **A**～**E**の中から選び、その記号を書きなさい。
- A** a few **イ** many **ウ** no **エ** other
- 4 本文中の **①** に当てはまる最も適切な英文を、次の **A**～**E**の中から選び、その記号を書きなさい。
- A** Is it necessary for us to eat vegetables?
- イ** How can we eat 350 grams of vegetables?
- ウ** When should we eat vegetables?
- エ** Do many people in Japan eat 350 grams of vegetables every day?

5 次の【メール】は、エミリーが、イギリスにいる母親に、広子と健太と話した内容について伝えるために送ったものです。本文の内容を踏まえて、【メール】中の(a) ~ (d) に当てはまる最も適切な英語を、下のア～オの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

【メール】

Mom,

Today, I learned about the word *shokuiku* and the idea of “five plates of vegetables a day.” *Shokuiku* means food and nutrition education. My Japanese friends explained what they did and learned. I remembered that in the U.K., we (a) .

The idea of “five plates of vegetables a day” is used to (b) . The target is 350 grams, so this means adults should eat five plates of 70 grams of vegetables every day. I often eat salad, but eating five plates of salad is difficult for me! However, we found a good way to eat more than 350 grams of vegetables. It is to (c) . To (d) , we are going to join a cooking lesson at a farm in our town. I will cook some vegetable dishes for you when I’m back!

Love,

Emily

(注) explain 説明する love じゃあまたね

- ア have salad and some dishes of cooked vegetables
- イ find a website to learn about food and nutrition
- ウ learn how to cook vegetables
- エ have similar programs
- オ show the daily vegetable intake target of adults in Japan

3 次の英文は、高校生の信一が、学校の英語部が作成する英字新聞のために書いた、インドネシアへ短期留学した際の体験についての記事です。これに関して、あとの1～6に答えなさい。

My Experience in Indonesia

In February, I visited Indonesia to study at a school there. I was interested in the country because of its diverse ethnic groups and languages.

When I arrived at the airport in Jakarta on the first day of my stay, my host family was waiting for me there. One of the family members said, “Hi, Shinichi. I’m Lukas. Nice to meet you!” Lukas was interested in Japan, and he was learning Japanese in high school. ① He (why told was me he) interested in Japan. He said, “My grandfather is a photographer and lived in Japan when he was young. He showed me pictures taken in Japan. When I saw the beautiful places in his pictures, I became a big fan of Japan. My dream is to live in Japan someday, so now I am studying Japanese hard, but remembering *kanji* is very difficult for me.” [あ]

The host family was very kind to me, and I soon relaxed. They also told me about the people and customs of Indonesia. On the third day of my stay, they took me to the house of Lukas’s aunt in a small town. Her house was damaged because of strong winds. His aunt’s family and a lot of her neighbors came to her house and helped her repair it. [い] I was surprised and said to Lukas, “In Japan, we usually ask a company to repair houses. Do people usually repair houses like this here?” Lukas said, “Yes. Indonesian people are ready to help a person who needs help. We act on *gotong royong*. That’s a cultural value in Indonesia. The value means helping each other when we need help.” [う]

After a few more days, I went to school with Lukas for two weeks. It was fun to meet so many students. Some lessons were difficult for me, but Lukas often helped me understand the lessons at night. He was always kind and helped me a lot. I thought, “I want to do something for him. What can I do?” [え]

One day, after we went back to Lukas’s home, I said to him, “I want to show you something. Let me write your name ‘Lukas’ in *kanji*.” He said, “Great!” I continued, “I chose three *kanji* characters.” I wrote his name on a piece of paper. It was “留火主”. I said to him, “The first *kanji* means ‘to keep’. The second one means ‘fire’. The third one means ‘a person who has something’. I chose these characters because your passion for Japan is like ‘fire’, and I hope you will ‘keep’ the passion you

‘have’ now.” Lukas was excited and said, “Wow, that’s so cool! I will never these characters. Thank you!”

On the last day of my stay, the host family took me to the airport by car. Lukas said to me, “Now I know what my name is in *kanji* and what it means. I want to keep my passion for Japan and work for both Indonesia and Japan in the future.” I was very happy to hear that.

Thanks to Lukas and his family, I have learned about the people and customs of Indonesia, and realized the importance of the value *gotong royong*. Before I went to Indonesia, I hesitated to help people. However, I will act on *gotong royong* to help someone who needs help from now on. I also hope that people will help each other more often in the future.

(注) Indonesia インドネシア diverse 多様な ethnic group 民族
Jakarta ジャカルタ stay 滞在 host family ホームステイ先の家族
custom 習慣 damaged 傷んだ repair 修理する
Indonesian インドネシアの be ready to ～ 喜んで～する
act on ～ ～に従って行動する *gotong royong* ゴトン・ロヨン
cultural 文化の value 価値観 character 文字 passion 情熱
thanks to ～ ～のおかげで importance 重要性 hesitate ためらう
from now on これからは

1 次の (1)・(2) に対する答えを、それぞれ英文で書きなさい。

- (1) Was Lukas learning Japanese at school?
(2) Who took Shinichi to the house of Lukas’s aunt?

2 下線部①が意味の通る英文になるように、() 内の語を並べかえなさい。

3 次の英文は、本文中から抜き出したものです。この英文を入れる最も適切なところを本文中の [あ] ～ [え] の中から選び、その記号を書きなさい。

Then, I got an idea.

4 本文中の に適切な語を1語補って、英文を完成しなさい。

5 次のア～エの中で、本文の内容に合っているものを全て選び、その記号を書きなさい。

ア Shinichi’s host family was at the airport in Jakarta when Shinichi arrived there.

イ Lukas wanted to be a photographer in the future.

ウ Shinichi helped Lukas when Lukas couldn’t understand lessons in Japanese.

エ Lukas’s aunt repaired her house with her family and a lot of her neighbors.

6 次の【感想文】は、信一の書いた記事を読んだある生徒が英語で書いたものです。これを読んで、下の (1)・(2) に答えなさい。

【感想文】

I enjoyed reading the article about Shinichi’s experience in Indonesia very much. I have learned that people in Indonesia a . I don’t often see this in my city. Actually, the other day some foreign tourists were looking for someone to ask for directions, but I didn’t do anything. Next time, when I see foreign tourists who need help, I would like to talk to them and help them.
I think that Shinichi learned new things about people and culture by going abroad. I wish I b abroad, but now I can’t do that because I want to practice hard at my club activities. In the future, I would like to visit foreign countries and learn new things like Shinichi.

(注) article 記事 the other day 先日 ask for directions 道順を聞く

(1) 本文を踏まえて、 a に入る最も適切な英語を本文中から9語で抜き出して書きなさい。

(2) 【感想文】の文脈に合うように、 b に入る適切な英語を2語で書きなさい。

- 4 あなたは、英語の授業で、次のテーマについてクラスで意見交換をすることになりました。このテーマについて、賛成または反対のいずれかの立場で、あなたの意見を 30 語以上 55 語以内のまとまりのある英文で書きなさい。なお、2 文以上になっても構いません。ただし、下の【条件】と【注意事項】に従って書くこと。

外国語映画を見るには、吹き替えの映画より字幕付きの映画の方がよい。
Movies with subtitles are better than dubbed movies when we watch foreign-language movies.

(注) subtitle 字幕 dubbed 吹き替えされた foreign-language 外国語の

※ ここでは、「吹き替えの映画」は、あなたが普段使用している言語でせりふなどが吹き込まれた映画とし、「字幕付きの映画」は、あなたが普段使用している言語でせりふなどが文字で映し出される映画とします。

【条件】

- (1) 賛成か反対かの立場を明確にすること。
- (2) 賛成か反対を選んだ理由を 2 つ挙げること。

【注意事項】

英文は次の記入例のように各下線上に 1 語ずつ書くこと。短縮形 (I'll や don't など) は 1 語と数え、符号 (, や ? など) は語数に含めません。

(記入例) That's very good. (3 語)

問題は、次のページに続きます。

国語採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	採点上の注意	配点
1	㉔	語として採点する。	各 1
	㉕		
	㉖		
2	エ	語として採点する。	各 2
3	ウ		
4	早繰が、自分とけんかをしたことを後悔して、泣いていたということ。(82字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
5	泣かないと思っていた六花を泣かせてしまい、困惑したから。(28字)		
6	I 部活のぐちを聞いてもらい、なぐさめてもらってすっきりしたい (29字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3
	II 部活の練習についていけず、つらい思いをして家でめそめそ泣いていた自分が責められている (42字)		
	III 自分のことでもいいっぱいいっぱいで、早繰の気持ちを考えず言った言葉で早繰をきずつけていた (42字)		

問題番号	正 答	採点上の注意	配点
二	㉗	語として採点する。	各 1
	㉘		
	㉙		
	イ	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
	3 刻々と変化する世界の動向を正確に捉えた、質の良いいメールマガジンやニュース。(87字)		
	4 深層	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3
	5 頭から発令し続けられる、その頭体が生きながらえていくための「適正な動作」に従い、身体を駆使して活動しながら、敬語に食物を採取し、自らを維持存続させていく (76字)		
三	6 一世代・一頭体にしか適用できない概念	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3
	1 われて		
	I 自分が納得するまで、時間をかけて何回も書きかえる (24字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 2
	2 II 書く内容をすぐに思いつき、ただちに完成させる (22字)		
	III 間違いがほとんどなかった (12字)		
	IV 考えが足りないことがある (12字)		

社 会 採 点 基 準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	【例】	採 点 上 の 注 意	配 点
1	う			各 2
2	ア			2
3	C			12
4	エ			
5	建築物から発生する熱によって永久凍土がとけて、建物が傾いてしまうことを防ぐため。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4
1	エ			各 2
2	イ			2
3	泰公			
4	イ			
2	a 自由民権運動			1 13
b 世論に影響を与える新聞による言論活動を弾圧			内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
6	う			2

問題番号	正 答	【例】	採 点 上 の 注 意	配 点
1	地方公共団体			各 2
2	ア			2
3	え			12
4	あ			
2	価格の大幅な引き下げが続けば、他の店舗が閉店に追い込まれることになり、A店が独占的に販売できるようになるため。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4
1	a 世界恐慌			各 2
2	b・c ウ			2
3	イ			
4	2	外国産の石炭が輸入される	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3 13
3	A 年齢が高くなる		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 2
B 誰もが等しく				2

数学採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	採 点 上 の 注 意	配 点
①	(1) -1		各 2 16
	(2) $10a^2b$		
	(3) $5\sqrt{6}$		
	(4) $x = 0, x = -16$		
	(5) 3		
②	(6) ア, ウ	全部合っているものだけを正答とする。	2
	(7) 54π		各 2 2
	(8) 27		
	(9) 39		各 3
③	(10) $(12 + \sqrt{22})$		各 3 9
	(11) ア 0.55		
	(12) イ 0.52	全部合っているものだけを正答とする。	
	(13) ウ ①		
④	(14) 今年イベントで購入された、大人の入場券の枚数を x 枚、子どもの入場券の枚数を y 枚とすると 大人の入場券の売り上げは $1000 \times \frac{70}{100}x + 1300 \times \frac{30}{100}x = 1090x$ (円) 子どもの入場券の売り上げは $500 \times \frac{60}{100}y + 700 \times \frac{40}{100}y = 580y$ (円) 入場券の売り上げの合計から $1090x + 580y = 554100$① 入場券が全て前売り券であった場合の売り上げの合計から $1000x + 500y = 500000$② ①, ②を連立方程式として解くと $x = 370, y = 260$ $x = 370, y = 260$ は問題に適している。 大人の入場券の枚数は 370 枚、 子どもの入場券の枚数は 260 枚	内容を正しく捉えて いれば、表現は異なっ ていてもよい。	5

問題番号	正 答	採 点 上 の 注 意	配 点
④	(1) (2, -4)		各 3 6
	(2) $\frac{15}{7}$		
	ア COG		
	イ OCG		
⑤	(1) ウ	1組の辺とその両端の角	各 1 8
	(2) AB ⊥ CD であるから ∠BOC = 90° BCに対する円周角∠BECの大きさは、BCに対する 中心角∠BOCの大きさの半分であるから ∠BEC = 45° ∠OFBは△CEFの外角であるから ∠a = ∠OCG + 45°① AB ⊥ CD であるから ∠COG = 90° △OGCの内角の和は180°であるから ∠OCG + ∠b + 90° = 180° ∠b = 90° - ∠OCG② ①, ②より ∠a + ∠b = (∠OCG + 45°) + (90° - ∠OCG) = 135° したがって、点Eが、点Aと点Dを除くAD上のどの位 置にあっても、∠OFBの大きさと∠OGCの大きさの 和は135°である。	内容を正しく捉えて いれば、表現は異なっ ていてもよい。	
	(2) (1) $\frac{3}{10}$		
	(2) $\frac{8}{25}$		
⑥	(1) $\frac{3}{10}$		各 3 6
	(2) $\frac{8}{25}$		

理科採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	【例】	採点上の注意	配点
1	1.6			
2	エ			
3	分子			
4	水			
5	イ			16
6	エ→イ→カ→オ→ウ		全部合っているものだけを正答とする。	2
7	銀河系		天の川銀河 もよい。	2
8	イ			2
(1)	ウ			2
記号	ア		記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。	
1 (2)	理由	地点Xの方が、等圧線の間隔が狭く、同じ距離間の気圧の差が大きいため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3
2	ウ			各 2
3	エ			2

問題番号	正 答	【例】	採点上の注意	配点
1	感覚器官			1
2	ア			2
3	反射			1
4	a 間隔をまたいで別々の骨		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
b	イ			2
1	粒子の数	ウ	粒子の数と粒子どうしの間隔がともに合っているものだけを正答とする。	2
粒子どうしの間隔	イ			2
(1)	ア			2
2 (2)	沸点の違い		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
3	名称	硝酸カリウム	名称と質量がともに合っているものだけを正答とする。	3
質量	イ			
(1)	a	エ		各 2
b	ア			
1 (2)	小球の速さが増加する部分に關係しない		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
2	ウ			2

英語採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正答	例	採点上の注意	配点
問題A	No.1	ウ		各 2
	No.2	エ		
	No.3	ア		
問題B	Where does she want to visit? (6語)		問いを正しく捉え、自分の考えが書かれていれば、内容は異なっていてよい。	13
問題C	I think you should visit castles because you can learn about the lives of people in the past and the history of areas around the castles.		問いを正しく捉え、自分の考えとその理由が書かれていれば、内容は異なっていてよい。	4
1	ウ			各 2
2	イ			
3	ウ			
4	イ			
5	a	エ		各 1
	b	オ		
	c	ア		
	d	ウ		

問題番号	正答	例	採点上の注意	配点
1	(1)	Yes, he was.	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	各 2
	(2)	Shinichi's host family did.		
	2	told me why he was		
	3	え		
	4	forget		
	5	ア、エ		
6	(1)	are ready to help a person who needs help	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	3
	(2)	could go		
3			問いを正しく捉え、次の①～③を満たしていれば、内容は異なっていてよい。	2
			① テーマについて、賛成か反対かの立場を明確にした上で、自分の意見を2つの理由とともに英文で書いている。	
4			② まとまりのある英文で書いている。	2
			③ 30語以上55語以内の英文で書いている。	
8			(注) ②「まとまりのある英文」は、文と文の順序や相互の関連に注意を払って書かれた、全体として一貫性のある英文のこととする。	8

英語問題集 取り検査台本

(チャイム2点)

英語の検査を開始します。問題用紙の1ページを聞きなさい。

1番の問題は放送による問題です。

はじめに、1番の問題についての説明を行います。

1番の問題には、問題A、問題B、問題Cの3種類の問があります。

問題Aは英語と質問、問題Bは英語、問題Cは英語を放送します。これらは全て2回ずつ放送します。メモをとっても構いません。

では、問題Aを始めます。

(チャイム1点)

問題A

これから、No.1~No.3まで、英語を3つ放送します。それぞれの英語を聞き、そのあとに続く質問の答えとして最も適切なものを、下のア〜エの中から選んで、その記号を書きなさい。

No.1

A: Hi, Yuta. How was your family trip?

B: Hi, Emma. It was a lot of fun! We did many things in one day.

A: Oh, what did you do?

B: We went hiking, visited a park and had lunch, and then went to a lake.

A: You had a busy day! Is the lake famous?

B: Yes. We like the lake because we can do many things there.

A: I see. What did you do there?

B: We rode a boat. We also wanted to go fishing, but we didn't have time.

Question No.1: What did Yuta and his family do after lunch?

No.2

A: Good morning, Tom. How are you?

B: Hi, Yoko. I'm great! I slept a lot last night.

A: How long did you sleep?

B: Well, I went to bed at nine o'clock last night, and got up at seven this morning.

A: So you slept for ten hours.

B: Yes! I was tired last night, so I went to bed early.

A: How long do you usually sleep?

B: I usually sleep for eight hours.

Question No.2: How long did Tom sleep last night?

No.3

A: Look at this graph, Kyoka. It shows what students in our class often do on the Internet.

B: Oh, watching videos is the most popular. Do you often watch videos on the Internet, Mike?

A: Yes. I often listen to music on the Internet, too.

B: Listening to music is as popular as sending messages to friends.

A: Only 20 percent of the students often use the Internet for shopping. How about you?

B: I don't usually buy things on the Internet.

Question No.3: Which graph are Kyoka and Mike looking at?

もう1回くりかえします。

問題A

No.1

A: Hi, Yuta. How was your family trip?

B: Hi, Emma. It was a lot of fun! We did many things in one day.

A: Oh, what did you do?

B: We went hiking, visited a park and had lunch, and then went to a lake.

A: You had a busy day! Is the lake famous?

B: Yes. We like the lake because we can do many things there.

A: I see. What did you do there?

B: We rode a boat. We also wanted to go fishing, but we didn't have time.

Question No.1: What did Yuta and his family do after lunch?

No.2

A: Good morning, Tom. How are you?

B: Hi, Yoko. I'm great! I slept a lot last night.

A: How long did you sleep?

B: Well, I went to bed at nine o'clock last night, and got up at seven this morning.

A: So you slept for ten hours.

B: Yes! I was tired last night, so I went to bed early.

A: How long do you usually sleep?

B: I usually sleep for eight hours.

Question No.2: How long did Tom sleep last night?

No.3

A: Look at this graph, Kyoka. It shows what students in our class often do on the Internet.

B: Oh, watching videos is the most popular. Do you often watch videos on the Internet, Mike?

A: Yes. I often listen to music on the Internet, too.

B: Listening to music is as popular as sending messages to friends.

A: Only 20 percent of the students often use the Internet for shopping. How about you?

B: I don't usually buy things on the Internet.

Question No.3: Which graph are Kyoka and Mike looking at?

これで、問題Aを終わります。

次に問題Bに入ります。これから放送する対話は、高校生の太郎と留学生のメグが、ある話題に関して話したときのものです。下の【対話】に示されているように、まず①で太郎が話し、次に②でメグが話し、そのあとにも交互に話します。③では太郎が話す代わりにチャイムが1回鳴ります。あなたが太郎なら、この話題に関する対話を続けるために、④でメグにどのような質問をしますか。⑤に入る質問を4番以上の英文で書きなさい。

問題B

Taro: Do you have time after school today? Let's study together.

Meg: Sorry, but I have to go home early this afternoon. My mother came to Japan yesterday.

Taro: Oh, great! Will you take her to your favorite places in the city today?

Meg: No. There is a place my mother wants to visit.

Taro: (チャイム1点)

もう1回くりかえします。

問題B

Taro: Do you have time after school today? Let's study together.

Meg: Sorry, but I have to go home early this afternoon. My mother came to Japan yesterday.

Taro: Oh, great! Will you take her to your favorite places in the city today?

Meg: No. There is a place my mother wants to visit.

Taro: (チャイム1点)

これで、問題Bを終わります。30秒後に問題Cに入ります。

問題Cに入ります。これから放送する英文は、留学生のジョーンが高校生の梅一に宛てて書きたったときのものです。ジョーンの質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたの考えをその理由とともに英文で書きなさい。なお、2文以上になっても構いません。

問題C

Two months ago, I came to Japan and started studying at this school. You and the other classmates have shown me a lot of things about school and daily life in Japan. I want to learn more about Japanese culture. What should I do?

もう1回くりかえします。

問題 C

Two months ago, I came to Japan and started studying at this school. You and the other classmates have shown me a lot of things about school and daily life in Japan. I want to learn more about Japanese culture. What should I do?

これで、1 番の問題の放送を全て終わります。

受験番号を問題用紙と解答用紙の両方に記入しなさい。このあとは、2 番以降の問題に進んでも構いません。
(チャイム 1 点)